

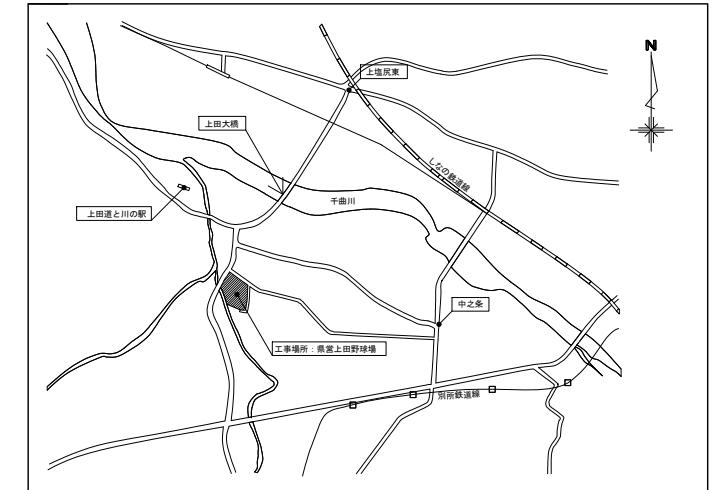
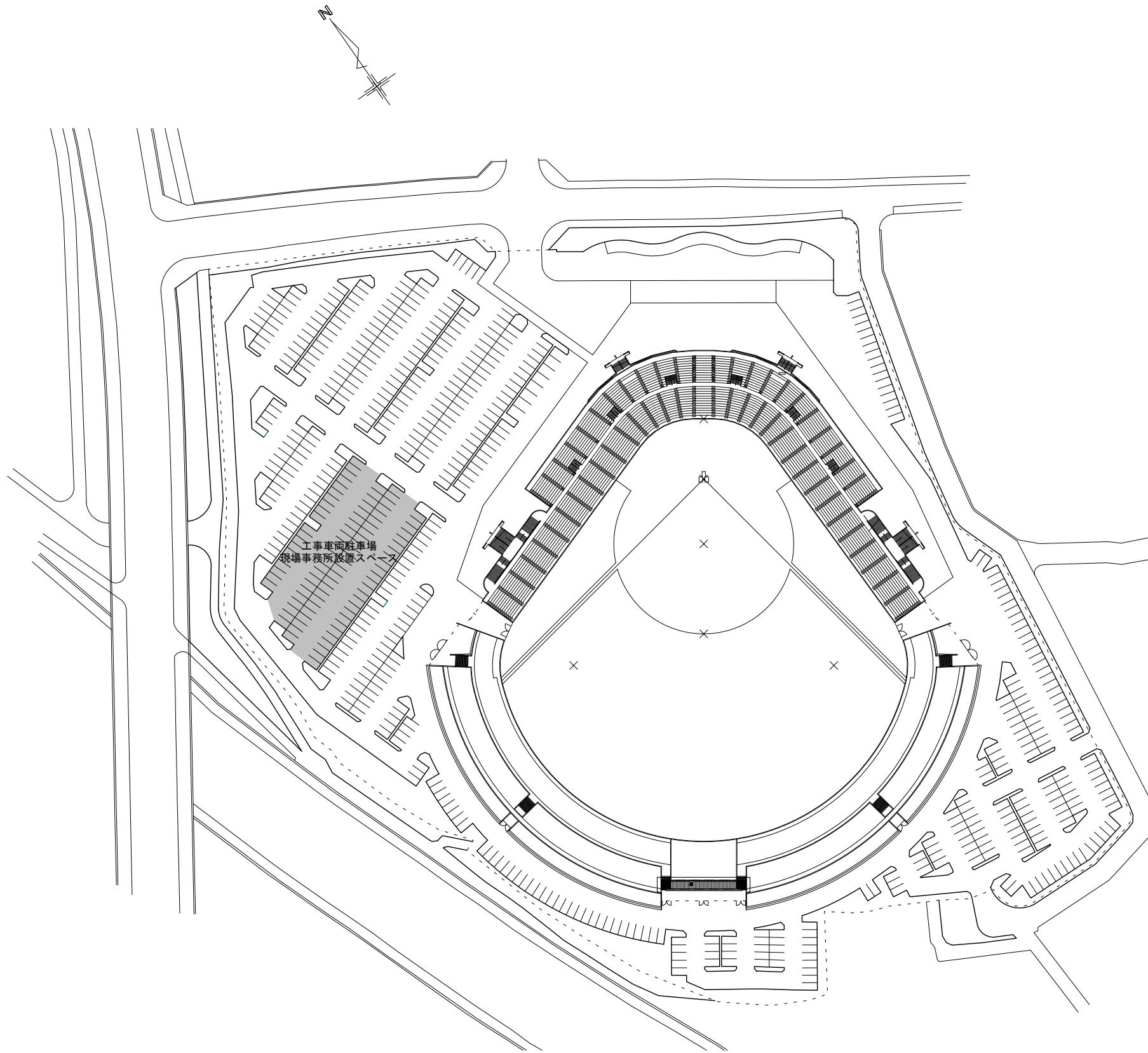
# 県営上田野球場 防水部分改修工事

図面番号	図面名称	縮尺(A1/A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A1/A3)
A-01	特記仕様書(1)	NON	A-11	スタンド現況平面図(2)	1:100/1:200
A-02	特記仕様書(2)	NON	A-12	スタンド現況平面図(3)	1:100/1:200
A-03	配置図・案内図	1:800/1:1600	A-13	防水改修平面図(1)	1:100/1:200
A-04	1階平面図	1:250/1:500	A-14	防水改修平面図(2)	1:100/1:200
A-05	2階平面図	1:250/1:500	A-15	防水改修平面図(3)	1:100/1:200
A-06	スタンド階平面図	1:250/1:500	A-16	詳細図	1:10/1:20
A-07	矩計図(1)	1:50/1:100	A-17	概略工事工程表(参考)	NON
A-08	矩計図(2)	1:50/1:100			
A-09	矩計図(3)	1:50/1:100			
A-10	スタンド現況平面図(1)	1:100/1:200			

 長野県観光スポーツ部  
株式会社 KRC

県営上田野球場 防水部分 改修工事																																																																																																																																																																										
<p><b>特記仕様書</b></p> <p><b>I. 工事概要</b></p> <p>1. 工事場所 上田市大字下之条</p> <p>2. 敷地面積 (m<sup>2</sup>)</p> <p>3. 工事種目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建物別</th> <th>種別</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>梁間(m)</th> <th>桁行(m)</th> <th>建築面積(m<sup>2</sup>)</th> <th>延面積(m<sup>2</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>野球場</td> <td>改修</td> <td>RC一部改修</td> <td>2F</td> <td></td> <td></td> <td>4349.83m<sup>2</sup></td> <td>4061.54m<sup>2</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンドの防水部分改修</li> </ul> <p>5. 工事範囲</p> <p>※ I3. 工事種目：すべてを工事範囲とする。</p> <p>・I3. 工事種目：のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事項目</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 仮設工事</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 防水改修工事</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 外壁改修工事 コンクリート打ち放し仕上げ外壁</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事 塗り仕上げ外壁</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 建具改修工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 内装改修工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7 塗装改修工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 耐震改修工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 環境配慮改修工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>II. 管理技術者等</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計事務所名 株式会社 KRC</th> <th>管理技術者 渡利真二</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主任担当技術者 意匠担当 構造担当 積算担当 意匠担当 意匠担当</td> <td>担当技術者 窪田石英</td> </tr> <tr> <td>意匠担当 株式会社 KRC 窪田石英</td> <td></td> </tr> <tr> <td>構造担当</td> <td></td> </tr> <tr> <td>積算担当 株式会社 KRC 窪田石英</td> <td></td> </tr> <tr> <td>意匠担当</td> <td></td> </tr> <tr> <td>意匠担当</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>III. 建築改修工事仕様</b></p> <p>(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官房常総部制定の下記仕様書等のうち、○をつけたものを適用する。</p> <p>○公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）（以下、「改修標準仕様書」という。）</p> <p>○公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）（以下、「標準仕様書」という。）</p> <p>○建築工事標準詳細図（最新版）（以下「標準詳細図」という。）</p> <p>○建築物解体工事共通仕様書（最新版）</p> <p>・敷地調査共通仕様書（最新版）</p> <p>・建築構造設計基準（最新版）</p> <p>○工事写真の撮り方 建築編（最新版）</p> <p>・公共建築工事標準仕様書（最新版）</p> <p>○建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）</p> <p>○長野県建設リサイクル推進指針</p> <p>国土交通省大臣官房技術調査課・土地・建設産業局建設業課 長野県建設部</p>				建物別	種別	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(m <sup>2</sup> )	延面積(m <sup>2</sup> )	野球場	改修	RC一部改修	2F			4349.83m <sup>2</sup>	4061.54m <sup>2</sup>	工事項目					2 仮設工事	○				3 防水改修工事	○				4 外壁改修工事 コンクリート打ち放し仕上げ外壁					外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁					外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁					外壁改修工事 塗り仕上げ外壁					5 建具改修工事					6 内装改修工事					7 塗装改修工事					8 耐震改修工事					9 環境配慮改修工事					設計事務所名 株式会社 KRC	管理技術者 渡利真二	主任担当技術者 意匠担当 構造担当 積算担当 意匠担当 意匠担当	担当技術者 窪田石英	意匠担当 株式会社 KRC 窪田石英		構造担当		積算担当 株式会社 KRC 窪田石英		意匠担当		意匠担当		<p>(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（／）図、機械設備工事の特記仕様書は（／）図による。</p> <p>(3) 本特記仕様書の表記</p> <p>1) 項目は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。</p> <p>○印と※印の付いた場合は、共に適用する。</p> <p>3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>4) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>5) 国印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日文更開議決定）」に定める特定調達品目における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものと示す。</p> <p><b>章 項 目 特 記 事 項</b></p> <p>1 各章共通事項</p> <p>① 適用区分</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。</p> <p>○ 風圧力 風速 (V<sub>0</sub> = 30 m/s) 地表面粗度区分 (I, II, III, IV)</p> <p>・ 積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表 ( )</p> <p>② 工事実績情報の登録</p> <p>※ 適用する ○ 適用しない [1.1.4]</p> <p>3. 電気保安技術者</p> <p>※ 適用する ○ 適用しない [1.3.3]</p> <p>④ 施工条件明示事項</p> <p>○ 「現場説明事項・施工条件明示事項」による [1.3.5]</p> <p>⑤ 環境への配慮</p> <p>(1.4.1) [1.4.1] 1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から⑤を満たすものとする。 ① 合板、木質系フレーリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、 ・塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない 材料で、設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放出量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（タル酸ジ-2-チル及びタル酸ジ-2-エチル-2-キシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。</p> <p>(1.4.2) [1.4.2] 1) 本工事に使用する材料は、設計図面に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 4) 本工事に使用する材料のうち、5) に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安全的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。 5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 床型枠鋼製ティキブリート、鉄骨柱下部取縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既設モルタル、既設合目地材、ルーフドレン、吸水調整材、継ぎ頭、クローザー類、自動ドア機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレース、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、鉄錆製品</p> <p>⑥ 材料の品質等</p> <p>(1.4.2) [1.4.2] 1) 本工事に使用する材料は、設計図面に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 4) 本工事に使用する材料のうち、5) に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安全的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。 5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 床型枠鋼製ティキブリート、鉄骨柱下部取縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既設モルタル、既設合目地材、ルーフドレン、吸水調整材、継ぎ頭、クローザー類、自動ドア機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレース、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、鉄錆製品</p> <p>7. 石縫合有建材の調査</p> <p>調査 ※石縫合有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石縫合有建材の事前調査を行う。 貸与資料 ( ) ・分析による石縫合有建材の調査 分析対象 アクリノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析方法 (JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2)</th> <th>定量分析方法 (JIS A 1481-3) または (JIS A 1481-4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ (箇所)</td> <td>・ (箇所)</td> <td>・ (箇所)</td> </tr> <tr> <td>・ (箇所)</td> <td>・ (箇所)</td> <td>・ (箇所)</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示による</p> <p>8. 施工数量調査</p> <p>調査範囲及び調査方法 ※ 図示 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※ 図示 [1.6.2] [1.6.3]</p> <p>9. 設備工事との取合い</p> <p>設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>10. 技能士</p> <p>※ 適用する（一級技能士を採用している現場である旨の表示をすること。） [1.7.2] ・ 適用しない</p> <p>適用工事種目 技能検定作業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>防水改修工事</th> <th>・ フラット防水工事業 ・ クリゴム系塗膜防水工事業 ・ クリゴム系シート防水工事業 ・ 塗化ビニル系シート防水工事業 ・ セルロース系防水工事業 ・ ポリウレタン防水工事業 ・ FRP防水工事業 ・ 左官作業 ・ 建築塗装作業</th> </tr> </thead> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>外壁改修工事</th> <th>・ 左官作業 ・ タイプ張り作業 ・ 建築塗装作業</th> </tr> </thead> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具改修工事</th> <th>・ ピル用サッパ工事業 ・ カセツト系工事業 ・ 自動ドア施工業</th> </tr> </thead> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内装改修工事</th> <th>・ フラット工事業 ・ カベット系工事業 ・ 鋼製下地工事業 ・ 壁装作業 ・ 大工工事業 ・ タイプ張り作業</th> </tr> </thead> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装改修工事</th> <th>・ 建築塗装作業</th> </tr> </thead> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>耐震改修工事</th> <th>・ 鋼骨組立作業 ・ 型枠施工業 ・ トピア作業</th> </tr> </thead> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンクリートモルタル工事</th> <th>・ クリゴムモルタル工事業 ・ タイプ張り作業</th> </tr> </thead> </table> <p>11. 化学物質の濃度測定</p> <p>(1.5.9) [1.7.9] 測定方法 ※ バッヂ法（拡散法） アクティブ法（吸引法） 検査機器 ※ 環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承諾した者</p> <p>測定物質 ※ ホルムアルデヒド ※ トルエン ※ キシレン ※ エチルベンゼン ※ バラジクロロベンゼン ※ スチレン</p> <p>測定箇所 (室) 計 箇所</p> <p>※ 試料採取にあたっては、監督員又は監督員が指定する者が立会いの下に行う。 化学物質の室内汚染濃度指針値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ホルムアルデヒド</th> <th>トルエン</th> <th>キシレン</th> <th>エチルベンゼン</th> <th>バラジクロロベンゼン</th> <th>スチレン</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.08ppm</td> <td>0.07ppm</td> <td>0.20ppm</td> <td>0.88ppm</td> <td>0.04ppm</td> <td>0.05ppm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>12. 埋設配管・配線および鉄筋調査</p> <p>あと施工アンカーカー工事 6章および8章による コア抜き、はり工事等 ※既存資料調査 ・探査機（電磁波レーダー法又は電磁波誘導法）による探査 配管・配線等の位置の墨出を行う ・ 図示による ・ 放射線透過試験 労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。 1) 作業主任者は、エックス線操作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。 2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射部位は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。 3) 対応時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。 4) 付近にフィルム、磁気ディスク等の放射線の影響を受けるものの有無を確認する。 5) 墓出の墨出しは、表裏でungleinのように指面を講ずる。 撮影枚数 枚 フィルムサイズ コンクリート厚さ cm</p> <p>13. 完成図等</p> <p>※ 作図する (1.7.1～1.7.3) (表1.7.1) ※ 完成図（※ 設計図面を示したもの全て ・ 標注表1.7.2による ・ 監督員の指示による） 作成方法 原図 用紙 ( ) ・ 原図 ・ トレーシングペーパーA1 ・ 作図法 CAD ※ 製本（原図の白焼き、見開きA1版（1部）・A3版（2部）） ※ CADデータ（CD-R（2部）） ※ 保全に関する資料（2部）</p> <p>下記のものを監督職員へ提出する。原版は撮影業者の保管とする。 撮影部位及び箇所 分類・規格 提出部数 画数及び画質等 撮影者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>外観正面 : ( )箇所</th> <th>・ 電子データ(JPEGフルカラー ・ 圧縮率1/4程度)</th> <th>4500×3000ピクセル以上で画像 撮影実績のある者で、監督員が承諾する撮影業者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上記と異なる外部 : ( )箇所、 内部 : ( )箇所</td> <td>・ カラー印画紙キャビネ版 アルバム綴じ</td> <td>※ 2部</td> </tr> <tr> <td>外部 : ( )箇所、 内部 : ( )箇所 程度</td> <td>電子データ(CD-R) (JPEGフルカラー)</td> <td>※ 2部</td> <td>1280×960ピクセル以上かつ、撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 保全に関する資料 (2部) アラバムは、黒表紙金文字入り、サイズはH320×D300程度とする。</p> <p>14. 完成写真</p> <p>1. 1. 聴音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ・ 図示による</p> <p>2. 足場等</p> <p>手すり先行工法に関するガイドラインに基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ・ 設置する ・ (設置範囲) ・ 工事に必要な範囲 ・ 図示による ・ 設置しない 防護シート ・ 設置する ・ (設置範囲) ・ 工事に必要な範囲 ・ 図示による ・ 設置しない</p> <p>2. 仮設工事</p> <p>3. 防水改修工事</p> <p>1. 施工数量調査</p> <p>調査範囲 ・ 図示による 調査方法 ・ 図示による 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示による 調査報告書 (提出部数 2部)</p> <p>2. 降雨等に対する養生方法</p> <p>※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による</p> <p>3. 既存防水の処理</p> <p>既存保護層の撤去 ・ 行う (範囲) 既存防水層の撤去 ・ 行う (範囲) 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・ 行う (M4S1 M4AS1 M4C M4DI L4X) ・ 行わない</p> <p>4. 既存下地の処理</p> <p>既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ○図示による POS工法及びPOS1工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を新設した上り部等の処理 ※改修標準仕様書3.2.6(4)(g)①～③による 設備機器台、配管部、ラバベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ※監督職員との協議による ・ 図示による</p> <p>5. アスファルト防水</p> <p>屋根保護防水（既存） 新設防水層の種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修工法</th> <th>新設仕様別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>絶縁用シート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ P2A</td> <td>・ A-1 ・ A-2 ・ A-3</td> <td></td> <td></td> <td>※ボリシリコン糊 厚さ0.15mm以上 又はラットンコロス70g/m<sup>2</sup>程度</td> </tr> <tr> <td>・ P1B</td> <td>・ B-1 ・ B-2 ・ A1-1 ・ A1-2 ・ A1-3</td> <td></td> <td></td> <td>※ラットンコロス70g/m<sup>2</sup>程度</td> </tr> <tr> <td>・ P2A I</td> <td>・ B1-1 ・ B1-2</td> <td></td> <td></td> <td>※JIS A 9521に基づく押出法ボリシリコン糊 厚さ (mm)</td> </tr> <tr> <td>・ P1B I</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>改修アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ (mm)以上</p> <p>内部足場</p> <p>・ 設置する ・ (足場板等) ・ 設置しない</p> <p>材料、撤去材等の運搬方法</p> <p>種別 (A種 B種 C種 D種 E種) O種：利用可能なエレベーター ( ) D種：利用可能な階段 ( )</p> <p>3. 既存部分の養生</p> <p>養生方法等</p> <p>・ 既存部分 ・ 养生方法 (※ビニルシート、合板等 ・ 合板+防炎シート ) ・ 既存家具、既存設備等 ・ 养生方法 (※ビニルシート等 ・ ) ・ 既存パイプ、カーテン等 ・ 养生方法 (※ビニルシート等 ・ ) ・ 保管場所 ( ) ・ 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・ 固定による ※工事に支障となる範囲 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。</p> <p>4. 仮設間仕切り</p> <p>仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・ 図示による 既存防火扉利用 仮設間仕切りの種別と材質等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ (厚さmm)</th> <th>塗装</th></tr></thead></table>		材料名	定性分析方法 (JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2)	定量分析方法 (JIS A 1481-3) または (JIS A 1481-4)	・ (箇所)	防水改修工事	・ フラット防水工事業 ・ クリゴム系塗膜防水工事業 ・ クリゴム系シート防水工事業 ・ 塗化ビニル系シート防水工事業 ・ セルロース系防水工事業 ・ ポリウレタン防水工事業 ・ FRP防水工事業 ・ 左官作業 ・ 建築塗装作業	外壁改修工事	・ 左官作業 ・ タイプ張り作業 ・ 建築塗装作業	建具改修工事	・ ピル用サッパ工事業 ・ カセツト系工事業 ・ 自動ドア施工業	内装改修工事	・ フラット工事業 ・ カベット系工事業 ・ 鋼製下地工事業 ・ 壁装作業 ・ 大工工事業 ・ タイプ張り作業	塗装改修工事	・ 建築塗装作業	耐震改修工事	・ 鋼骨組立作業 ・ 型枠施工業 ・ トピア作業	コンクリートモルタル工事	・ クリゴムモルタル工事業 ・ タイプ張り作業	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	バラジクロロベンゼン	スチレン	備考	0.08ppm	0.07ppm	0.20ppm	0.88ppm	0.04ppm	0.05ppm		外観正面 : ( )箇所	・ 電子データ(JPEGフルカラー ・ 圧縮率1/4程度)	4500×3000ピクセル以上で画像 撮影実績のある者で、監督員が承諾する撮影業者	上記と異なる外部 : ( )箇所、 内部 : ( )箇所	・ カラー印画紙キャビネ版 アルバム綴じ	※ 2部	外部 : ( )箇所、 内部 : ( )箇所 程度	電子データ(CD-R) (JPEGフルカラー)	※ 2部	1280×960ピクセル以上かつ、撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	改修工法	新設仕様別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	・ P2A	・ A-1 ・ A-2 ・ A-3			※ボリシリコン糊 厚さ0.15mm以上 又はラットンコロス70g/m <sup>2</sup> 程度	・ P1B	・ B-1 ・ B-2 ・ A1-1 ・ A1-2 ・ A1-3			※ラットンコロス70g/m <sup>2</sup> 程度	・ P2A I	・ B1-1 ・ B1-2			※JIS A 9521に基づく押出法ボリシリコン糊 厚さ (mm)	・ P1B I					種別	仕上げ (厚さmm)	塗装					
建物別	種別	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(m <sup>2</sup> )	延面積(m <sup>2</sup> )																																																																																																																																																																			
野球場	改修	RC一部改修	2F			4349.83m <sup>2</sup>	4061.54m <sup>2</sup>																																																																																																																																																																			
工事項目																																																																																																																																																																										
2 仮設工事	○																																																																																																																																																																									
3 防水改修工事	○																																																																																																																																																																									
4 外壁改修工事 コンクリート打ち放し仕上げ外壁																																																																																																																																																																										
外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁																																																																																																																																																																										
外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁																																																																																																																																																																										
外壁改修工事 塗り仕上げ外壁																																																																																																																																																																										
5 建具改修工事																																																																																																																																																																										
6 内装改修工事																																																																																																																																																																										
7 塗装改修工事																																																																																																																																																																										
8 耐震改修工事																																																																																																																																																																										
9 環境配慮改修工事																																																																																																																																																																										
設計事務所名 株式会社 KRC	管理技術者 渡利真二																																																																																																																																																																									
主任担当技術者 意匠担当 構造担当 積算担当 意匠担当 意匠担当	担当技術者 窪田石英																																																																																																																																																																									
意匠担当 株式会社 KRC 窪田石英																																																																																																																																																																										
構造担当																																																																																																																																																																										
積算担当 株式会社 KRC 窪田石英																																																																																																																																																																										
意匠担当																																																																																																																																																																										
意匠担当																																																																																																																																																																										
材料名	定性分析方法 (JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2)	定量分析方法 (JIS A 1481-3) または (JIS A 1481-4)																																																																																																																																																																								
・ (箇所)	・ (箇所)	・ (箇所)																																																																																																																																																																								
・ (箇所)	・ (箇所)	・ (箇所)																																																																																																																																																																								
防水改修工事	・ フラット防水工事業 ・ クリゴム系塗膜防水工事業 ・ クリゴム系シート防水工事業 ・ 塗化ビニル系シート防水工事業 ・ セルロース系防水工事業 ・ ポリウレタン防水工事業 ・ FRP防水工事業 ・ 左官作業 ・ 建築塗装作業																																																																																																																																																																									
外壁改修工事	・ 左官作業 ・ タイプ張り作業 ・ 建築塗装作業																																																																																																																																																																									
建具改修工事	・ ピル用サッパ工事業 ・ カセツト系工事業 ・ 自動ドア施工業																																																																																																																																																																									
内装改修工事	・ フラット工事業 ・ カベット系工事業 ・ 鋼製下地工事業 ・ 壁装作業 ・ 大工工事業 ・ タイプ張り作業																																																																																																																																																																									
塗装改修工事	・ 建築塗装作業																																																																																																																																																																									
耐震改修工事	・ 鋼骨組立作業 ・ 型枠施工業 ・ トピア作業																																																																																																																																																																									
コンクリートモルタル工事	・ クリゴムモルタル工事業 ・ タイプ張り作業																																																																																																																																																																									
ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	バラジクロロベンゼン	スチレン	備考																																																																																																																																																																				
0.08ppm	0.07ppm	0.20ppm	0.88ppm	0.04ppm	0.05ppm																																																																																																																																																																					
外観正面 : ( )箇所	・ 電子データ(JPEGフルカラー ・ 圧縮率1/4程度)	4500×3000ピクセル以上で画像 撮影実績のある者で、監督員が承諾する撮影業者																																																																																																																																																																								
上記と異なる外部 : ( )箇所、 内部 : ( )箇所	・ カラー印画紙キャビネ版 アルバム綴じ	※ 2部																																																																																																																																																																								
外部 : ( )箇所、 内部 : ( )箇所 程度	電子データ(CD-R) (JPEGフルカラー)	※ 2部	1280×960ピクセル以上かつ、撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質																																																																																																																																																																							
改修工法	新設仕様別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート																																																																																																																																																																						
・ P2A	・ A-1 ・ A-2 ・ A-3			※ボリシリコン糊 厚さ0.15mm以上 又はラットンコロス70g/m <sup>2</sup> 程度																																																																																																																																																																						
・ P1B	・ B-1 ・ B-2 ・ A1-1 ・ A1-2 ・ A1-3			※ラットンコロス70g/m <sup>2</sup> 程度																																																																																																																																																																						
・ P2A I	・ B1-1 ・ B1-2			※JIS A 9521に基づく押出法ボリシリコン糊 厚さ (mm)																																																																																																																																																																						
・ P1B I																																																																																																																																																																										
種別	仕上げ (厚さmm)	塗装																																																																																																																																																																								



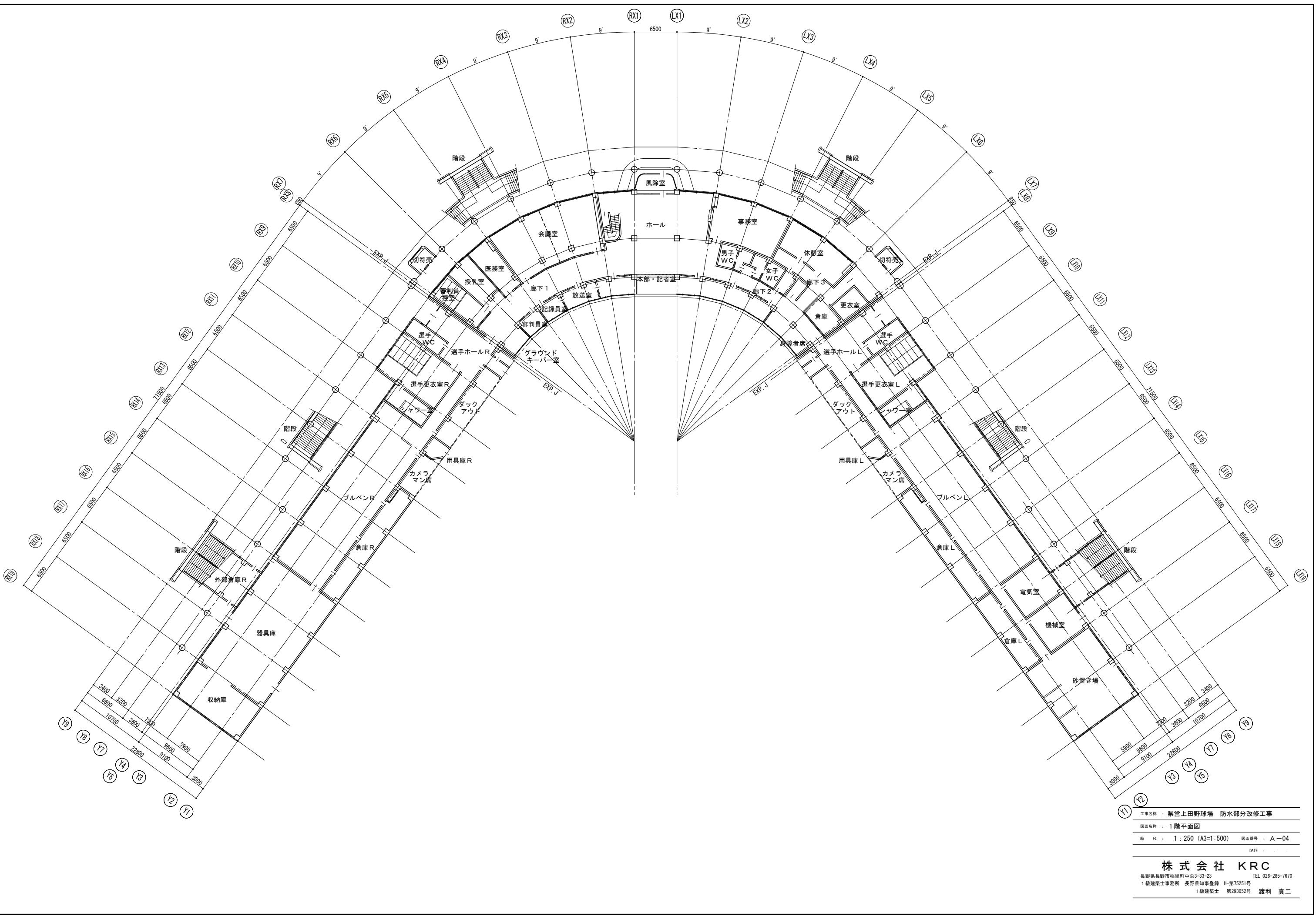


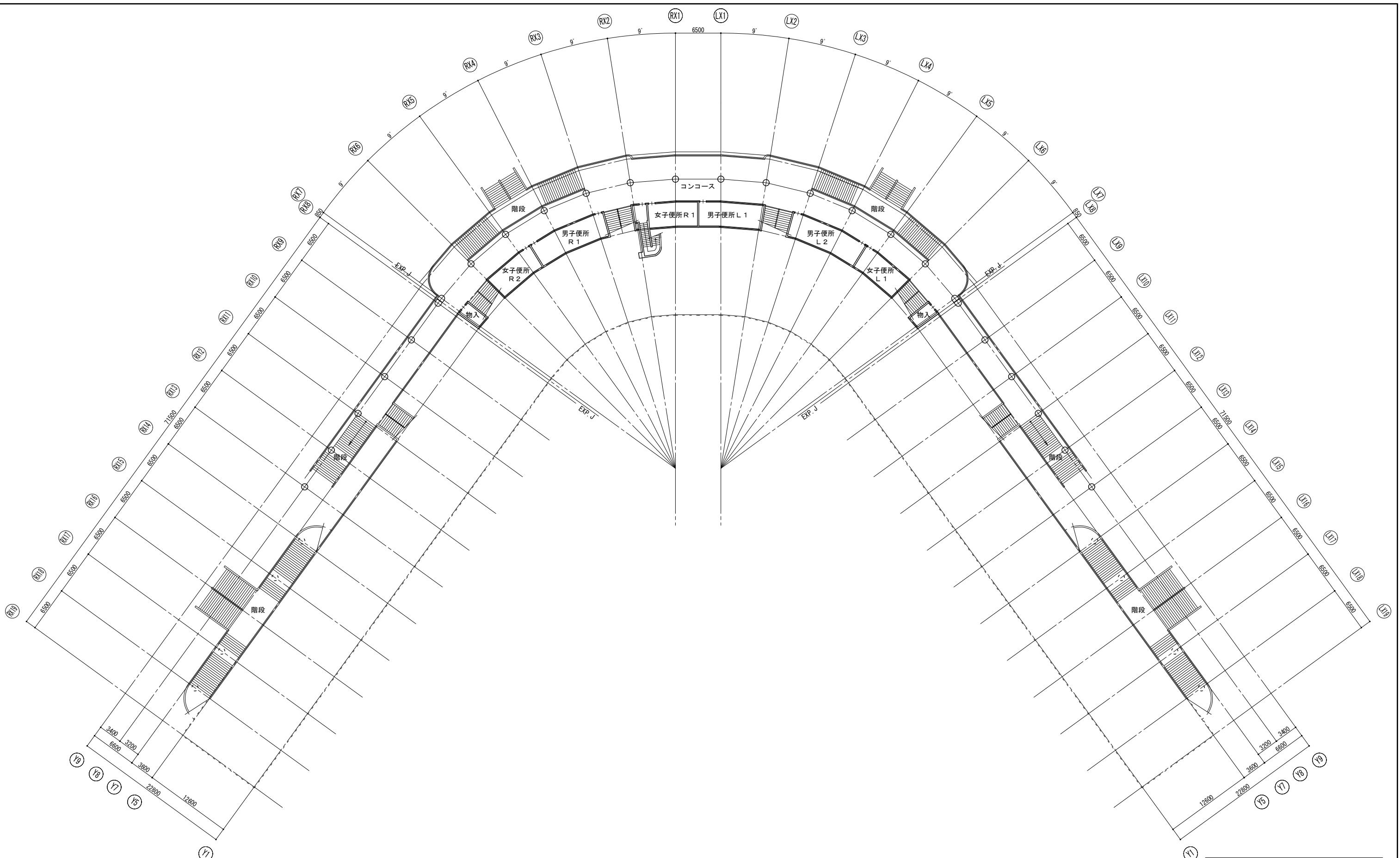
- (1) 工事の内容
- ・スタンド：PC版間部分の防水改修工事
  - ・スタンド～コンコース間階段：床の防水改修工事

#### 施工条件明示事項

- (1) 施設利用に関する事項
- ・公園内の工事となるため、作業工程、作業時間等、監督員および施設管理者と調整を図り工事を行うこと。
  - ・公園内のイベント開催等、監督員および施設管理者から要請があった場合は調整を図り、イベント等の開催に支障が出ないように協力を行うこと。
- (2) 仮設・工事車両に関する事項
- ・公園敷地内への専用の工事車両侵入路が確保できないため、大型車両の出入り時、資材等の搬出入時等、交通誘導員又は係員の配置を行う等の安全対策を行うこと。
  - ・また、資材の搬出入時は、カラーコーン等で作業エリアを区画すること。
  - ・工事関係車両の駐車場および現場事務所は、公園内の指定場所を使用すること。なお、別途発注工事でも使用するため、監督員と協議により使用する範囲を決定すること。
  - ・また、必要に応じてバリケード等で使用範囲を区画すること。
  - ・スタンドへの資材等の搬出入経路は、階段とするが施設管理者と調整を図ること。
- (3) 関連工事
- ・本工事のほかに、野球場内で工事が予定されているため、別途発注工事の工事受注者と相互に調整をい行き工事を行うこと。

工事名称：県営上田野球場 防水部分改修工事  
図面名称：配置図・案内図  
縮尺：1:800 (A3=1:1600) 図面番号：A-03  
DATE：  
株式会社 KRC  
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670  
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号  
1級建築士 第293052号 渡利 真二





工事名称 : 塩上田野球場 防水部分改修工事

画面名称 : 2階平面図

缩 尺 : 1:250 (A3=1:500) 图面番号 : A-05

DATE : - - -

株式会社 KRC

株式会社 TEC  
長野県長野市稻里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670

建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号  
登録者名：伊藤篤士 登録年月日：2022年5月 準利一

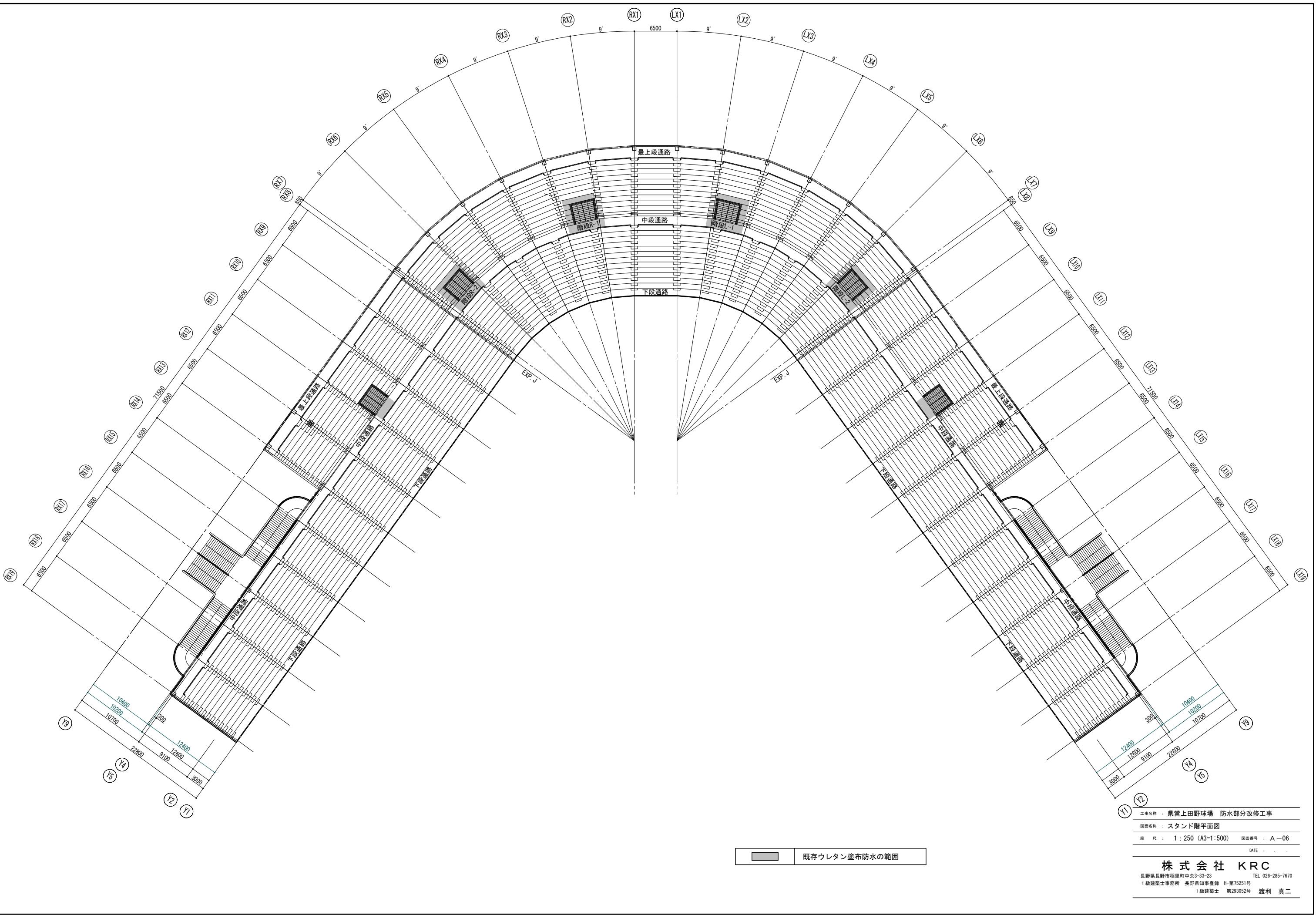
1級建築士 第293052号 渡利 真二

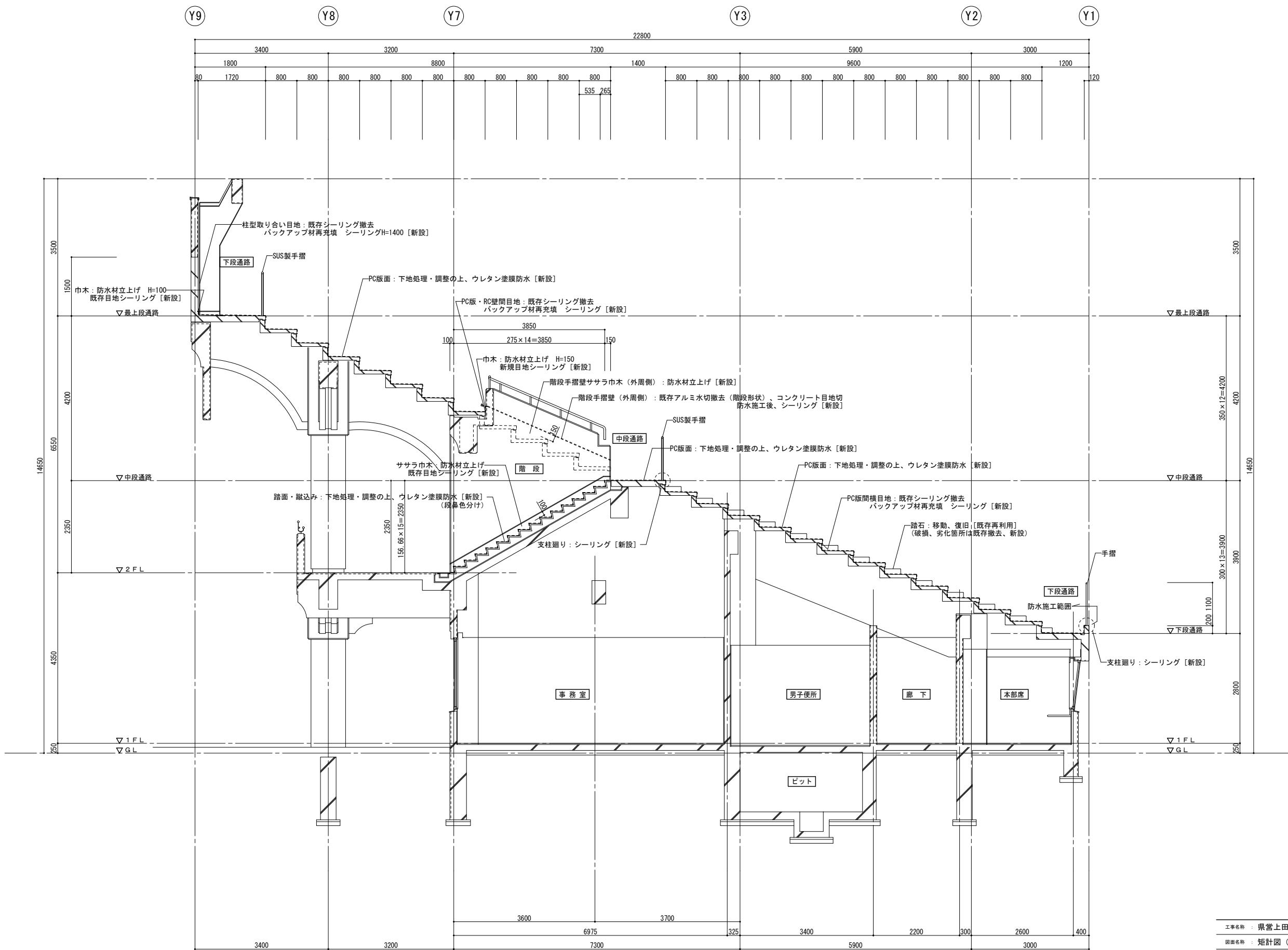
---

[View this post on Instagram](#) [See 1 comment](#)

---

Digitized by srujanika@gmail.com





工事名称 : 県営上田野球場 防水部分改修工事

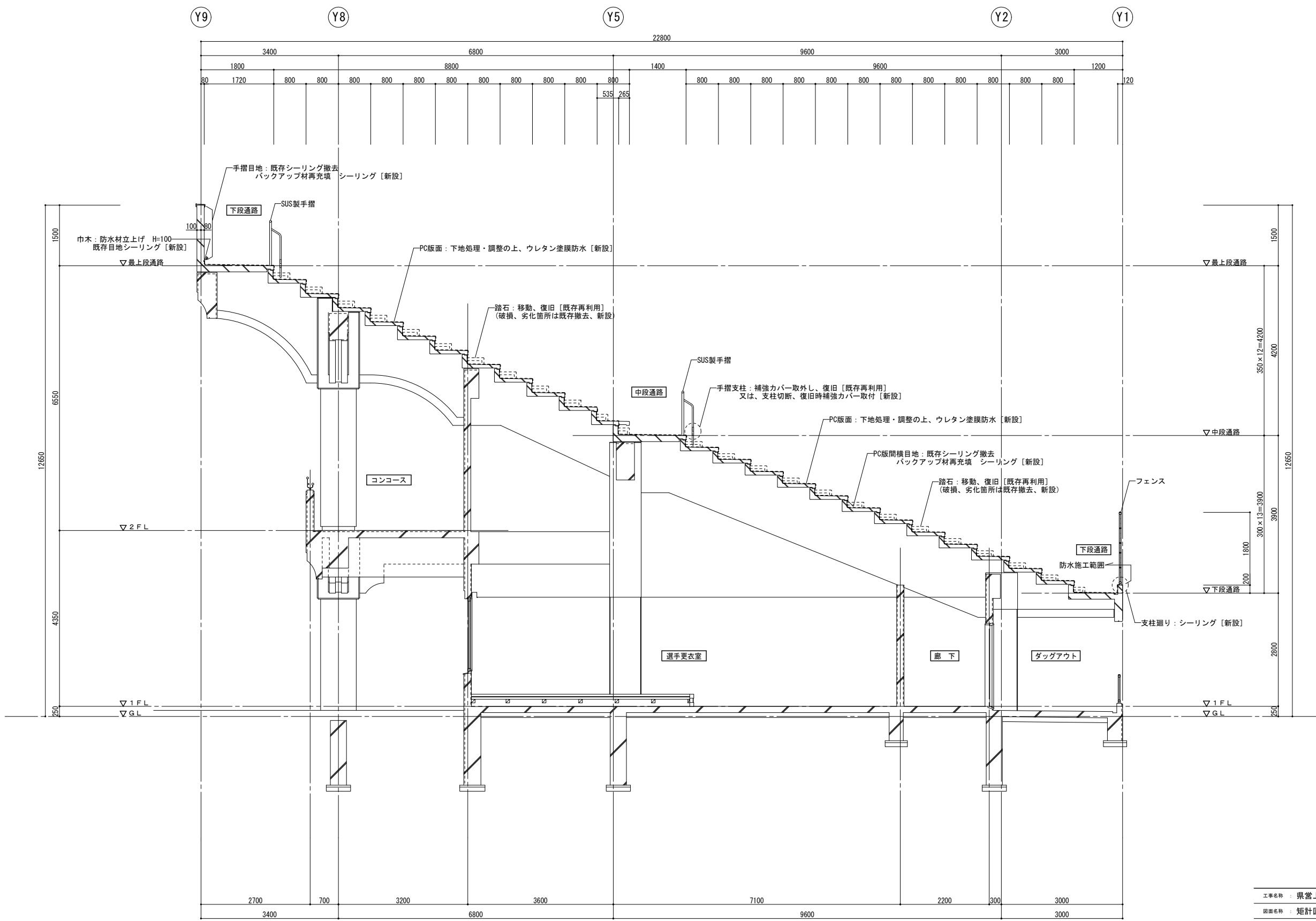
図面名称 : 矩計図 (1)

縮尺 : 1 : 50 (A3=1:100) 図面番号 : A-07

DATE :

株式会社 KRC

長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670  
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号  
1級建築士 第293052号 渡利 真二



工事名称 : 嘉當上田野球場 防水部分改修工事

図面名称：矩計図（2）

縮 尺 : 1 : 50 (A3=1:100) 図面番号 : A-08

---

DATE : \_\_\_\_\_

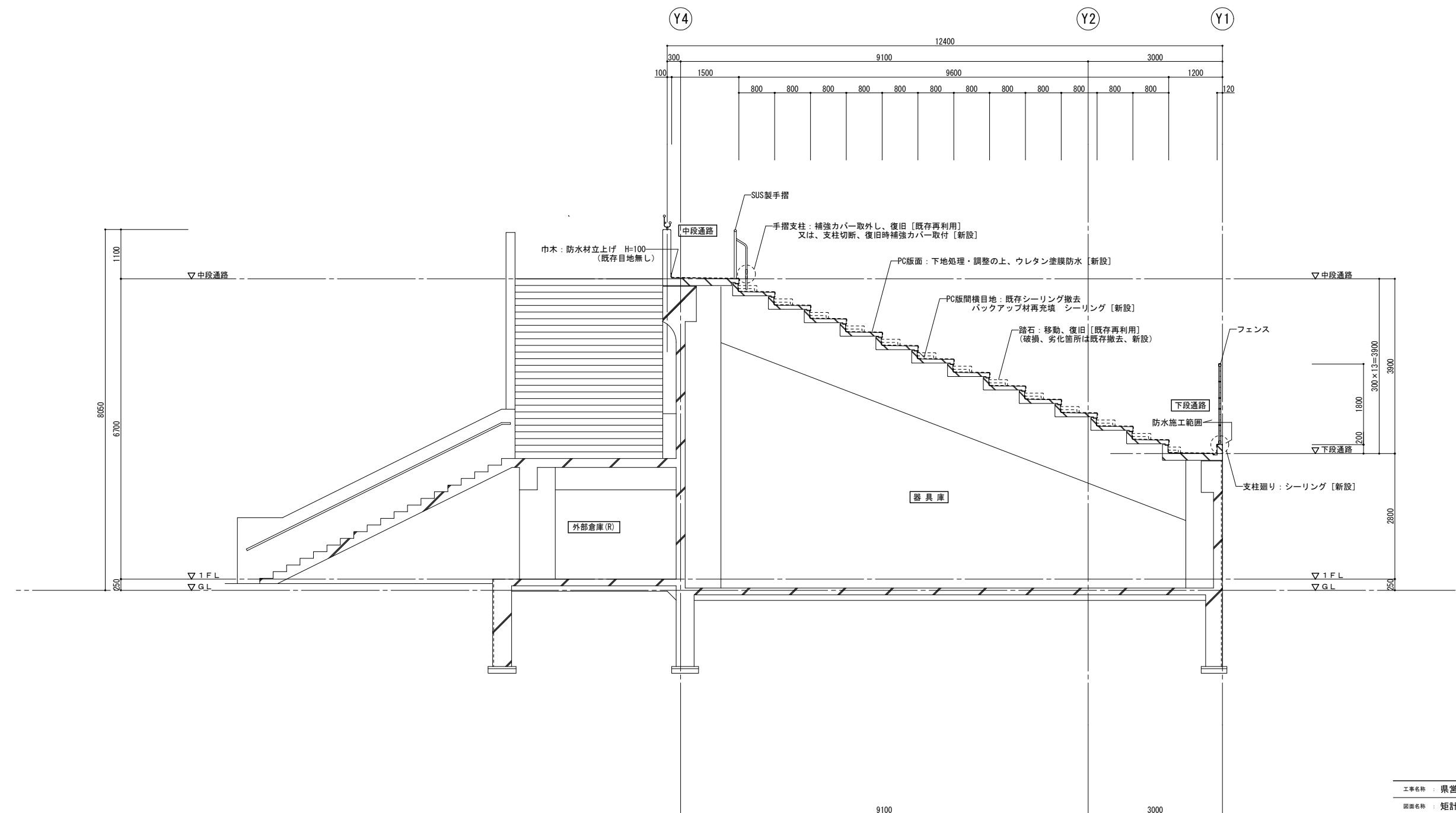
株式会社 KRC

長野県長野市稻里町中央3-33-23

TEL 026-285-7670

1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号  
上級建築士 第2020年5月1日 連利一

1級建築士 第293052号 渡利 真二



工事名称 : 県営上田野球場 防水部分改修工事

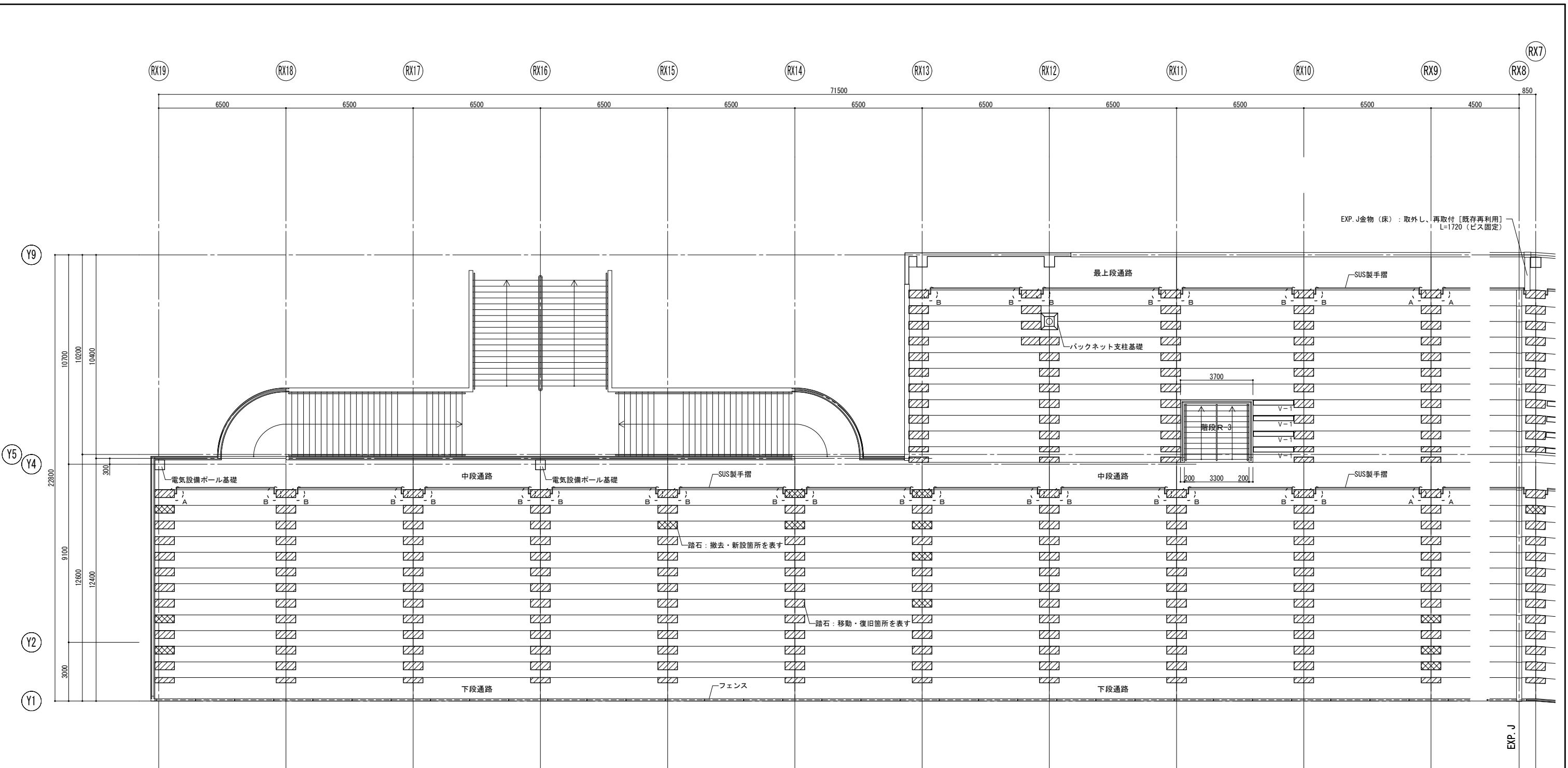
図面名称 : 矩計図 (3)

縮 尺 : 1 : 50 (A3=1:100) 図面番号 : A - 09

DATE :

株式会社 KRC

長野県長野市稲里町中央3-33-22 TEL 026-285-7670  
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号  
1級建築士 第293052号 渡利 真二



■ PC踏石 凡例

	[か所]
斜線	PC踏石：移動・復旧 (W1000×D420×H144) 262
斜線	PC踏石：移動・復旧 (W1000×D420×H144) 手摺付 22
斜線	PC踏石：移動・復旧 (W1000×D420×H169) 213
斜線	PC踏石：移動・復旧 (W1000×D420×H169) 手摺付 21
斜線	PC踏石：移動・復旧 (W1000×D285×H136) 25
斜線	PC踏石：移動・復旧 (W1000×D285×H167) 44
斜線	PC踏石：撤去・新設 (W1000×D420×H144) 24
斜線	PC踏石：撤去・新設 (W1000×D420×H144) 手摺付 5
斜線	PC踏石：撤去・新設 (W1000×D420×H169) 5
斜線	PC踏石：撤去・新設 (W1000×D420×H169) 手摺付 3
斜線	PC踏石：撤去・新設 (W1000×D285×H136) 2
斜線	PC踏石：撤去・新設 (W1000×D285×H167) 2

\*新設するPC踏石の形状は、現地調査の上で決定すること。

■ PC踏石取付手摺 凡例

A	SUS手摺：補強バー取外し（ビス固定）・補強 ※過年度工事による切断、補強バーパイプ取付箇所	43
B	SUS手摺：切断・補強 ※既存手摺切断・復旧時、補強バーパイプ取付	52

■ ベンチ席 取外し、復旧箇所リスト

V-1	L=2050	8台
V-2	L= 986	4台
V-3	L=1024	4台
V-4	L=1061	4台
V-5	L=1099	4台
総延長：33.08m		

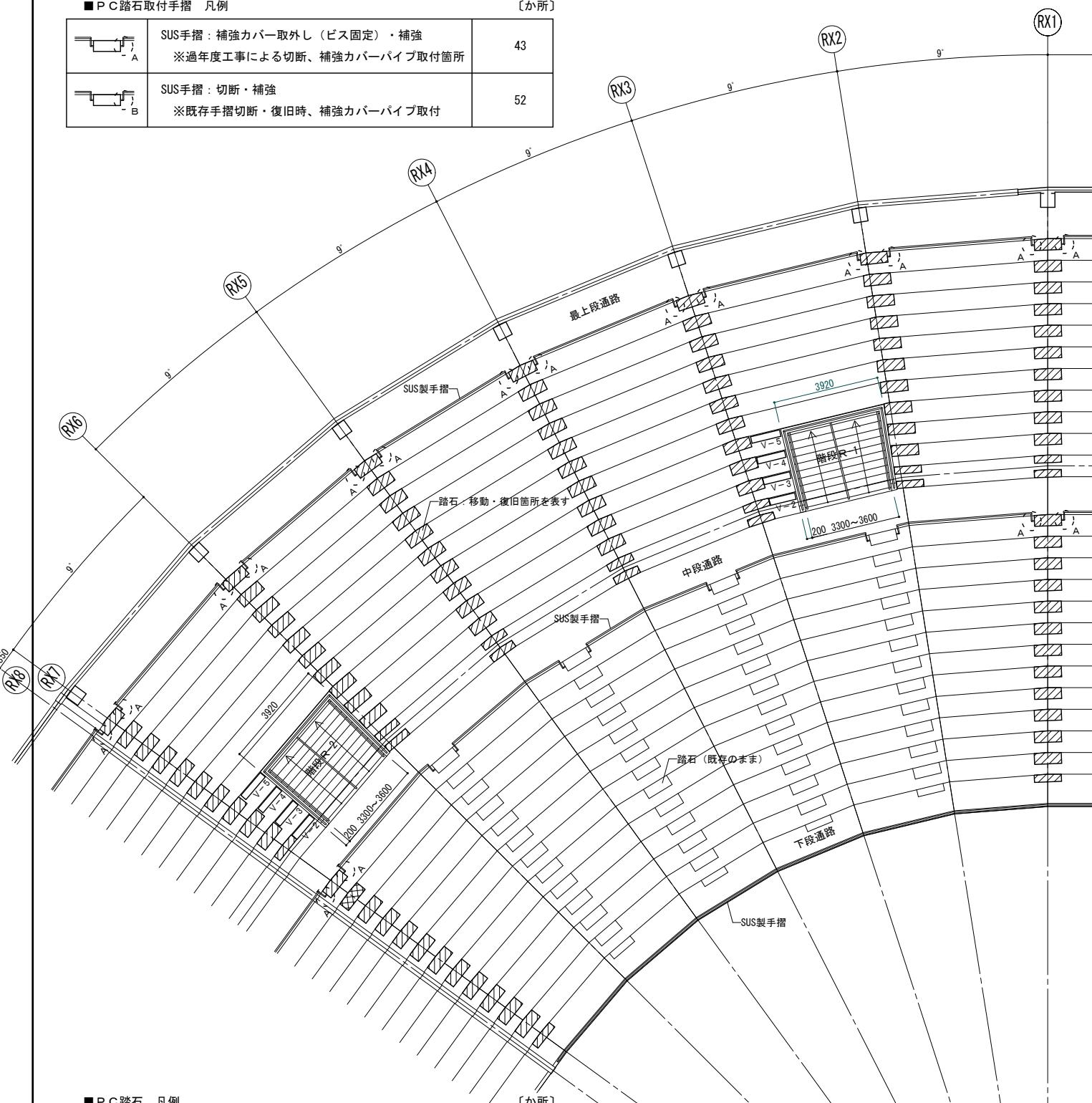
■ 工事内容 (1)

- 防水施工に支障となるベンチ席（図示）の座面を取外し（再利用・スタンド仮置き）、防水施工後に復旧とする。
- 段床の踏石を移動（再利用・スタンドに仮置き）、防水施工後に復旧とする。  
破損、劣化が著しい踏石（図示）は撤去（処分）、新規踏石（一部SUS手摺）に交換。
- 手摺が取付られている踏石は以下の処理を行う。
  - 支柱が切断され、補強バーが取付られている踏石
    - 補強バー（ビス止め固定）を取り外し（再利用）、手摺本体と分離。
    - 防水施工後、復旧（段差調整）し、補強バー（新設）取付接続。（詳細図参照）
  - 支柱が切断されていない踏石
    - 手摺支柱を切断し、手摺本体と踏石を分離（詳細図参照）。
    - 防水施工後、復旧（段差調整）し、補強バー（新設）取付接続。（詳細図参照）
- コンクリート壁面に目地切（防水材端部納めシーリング用）を行う。

【施工箇所】 RX19/LX19・Y1-4間 手摺壁、RX13/LX13・Y4-9間 手摺壁  
階段外周側手摺壁、ポール・支柱基礎廻り

工事名称：県営上田野球場 防水部分改修工事  
図面名称：スタンド現況平面図(1)  
縮尺：1:100 (A3=1:200) 図面番号：A-10  
DATE：  
株式会社 KRC  
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670  
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号  
1級建築士 第293052号 渡利 真二

■ P C 踏石取付手摺 凡例	〔か所〕
	SUS手摺：補強カバー取外し（ビス固定）・補強 ※過年度工事による切断、補強力バーパイプ取付箇所
	SUS手摺：切断・補強 ※既存手摺切断・復旧時、補強力バーパイプ取付

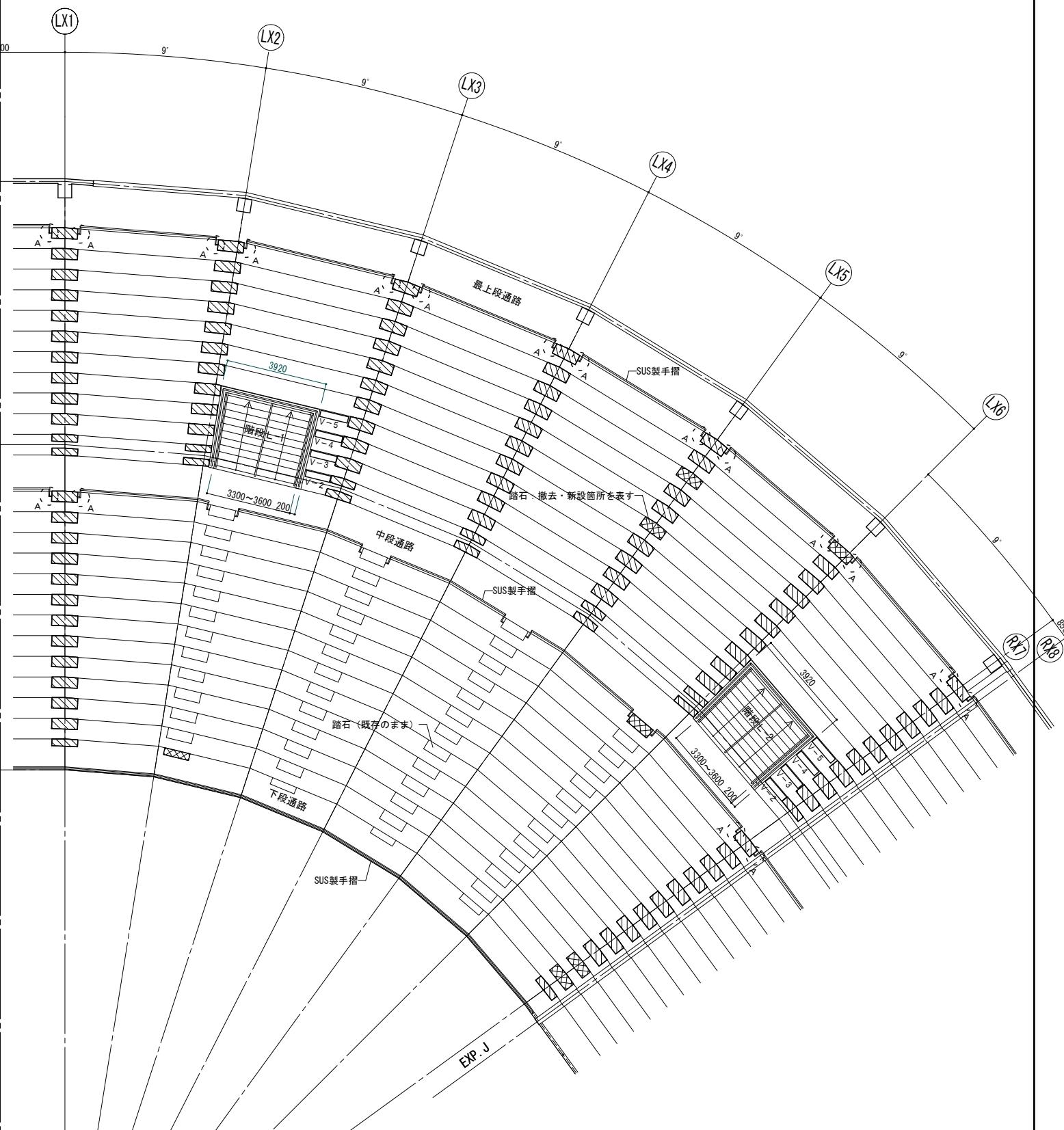


■ P C 踏石 凡例		[か所]
	P C 踏石 : 移動・復旧 (W1000×D420×H144)	262
	P C 踏石 : 移動・復旧 (W1000×D420×H144) 手摺付	22
	P C 踏石 : 移動・復旧 (W1000×D420×H169)	213
	P C 踏石 : 移動・復旧 (W1000×D420×H169) 手摺付	21
	P C 踏石 : 移動・復旧 (W1000×D285×H136)	25
	P C 踏石 : 移動・復旧 (W1000×D285×H167)	44
	P C 踏石 : 撤去・新設 (W1000×D420×H144)	24
	P C 踏石 : 撤去・新設 (W1000×D420×H144) 手摺付	5
	P C 踏石 : 撤去・新設 (W1000×D420×H169)	5
	P C 踏石 : 撤去・新設 (W1000×D420×H169) 手摺付	3
	P C 踏石 : 撤去・新設 (W1000×D285×H136)	2
	P C 踏石 : 撤去・新設 (W1000×D285×H167)	2

#### ■ベンチ席 取外し、復旧箇

V-1	L=2050	8台
V-2	L= 986	4台
V-3	L=1024	4台
V-4	L=1061	4台
V-5	L=1099	4台

※新設するP C 踏石の形状は、現地調査の上で決定すること。



## ■工事内容（

- ・防水施工に支障となるベンチ席（図示）の座面を取り外し（再利用・スタンド仮置き）、防水施工後に復旧とする。
  - ・段床の踏石を移動（再利用・スタンドに仮置き）、防水施工後に復旧とする。  
段床の踏石は、既存のベンチ席（図示）に接着して（左）新規設置して（右）に交換

破損、劣化が著しい踏石（図示）は撤去（処分）  
手標（添付）による踏石付近の整理を行ふ

- ・手摺が取付られている踏石は以下の処

- 1) 支柱が切断され、補強バーが取付られている踏石

- ・補強カバー（ビス止め固定）を取り外し（）

- ・防水施工後、復旧（段差調整）し、補強カバー再取付接続。

- ## 2) 支柱が切断されていない踏石

- ・手摺支柱を切断し、手摺本体と踏石を分離（詳細図参照）。

- ・防水施工後、復旧（段差調整）し、補強カバー（新設）取付接続。

- ・コンクリート壁面に目地切（防水材端部納めシーリング用）を行う。  
【施工箇所】RX19/LX19・Y1-4間 手摺壁、RX13/LX13・Y4-9間 手摺壁  
階段外周側手摺壁 ポール・支柱基礎廻り

---

---

工事名称 : 県営上田野球場 防水部分改修工事

## 図面名称 : スタンド現況平面図 (2)

縮 尺 : 1:100 (A3=1:200) 図面番号 : A-11

---

DATE : . . .

---

技术会话 16 P. 6

株式会社 KRC

長野県長野市幅里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670  
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号

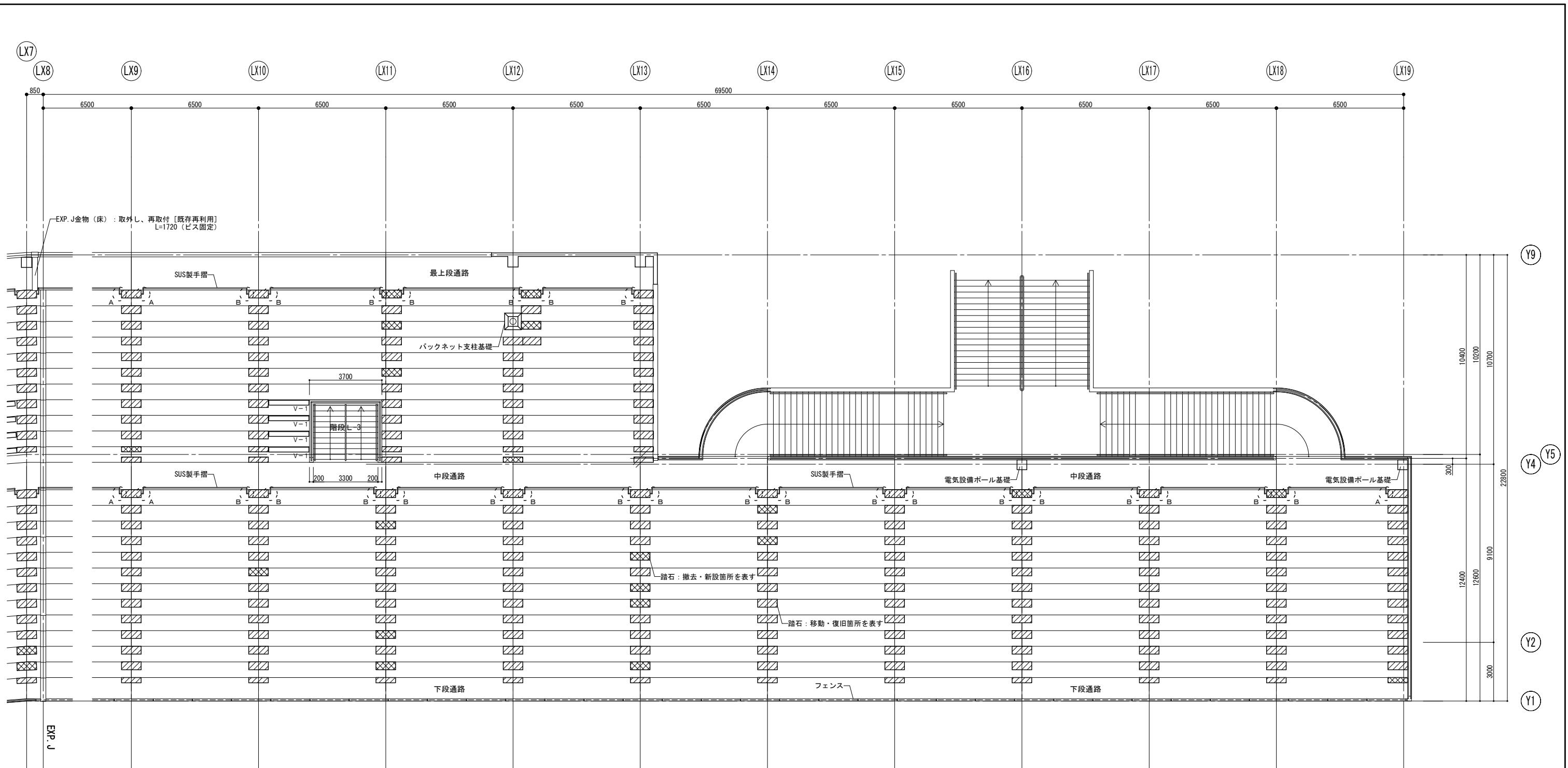
1級建築士 第293052号 渡利 真二

技术会话 16 P. 3

株式会社 KRC

長野県長野市幅里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670  
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号

1級建築士 第293052号 渡利 真二



■ PC踏石 凡例

	[か所]
斜線	PC踏石 : 移動・復旧 (W1000×D420×H144) 262
斜線	PC踏石 : 移動・復旧 (W1000×D420×H144) 手摺付 22
斜線	PC踏石 : 移動・復旧 (W1000×D420×H169) 213
斜線	PC踏石 : 移動・復旧 (W1000×D420×H169) 手摺付 21
斜線	PC踏石 : 移動・復旧 (W1000×D285×H136) 25
斜線	PC踏石 : 移動・復旧 (W1000×D285×H167) 44
斜線	PC踏石 : 撤去・新設 (W1000×D420×H144) 24
斜線	PC踏石 : 撤去・新設 (W1000×D420×H144) 手摺付 5
斜線	PC踏石 : 撤去・新設 (W1000×D420×H169) 5
斜線	PC踏石 : 撤去・新設 (W1000×D420×H169) 手摺付 3
斜線	PC踏石 : 撤去・新設 (W1000×D285×H136) 2
斜線	PC踏石 : 撤去・新設 (W1000×D285×H167) 2

※新設するPC踏石の形状は、現地調査の上で決定すること。

■ PC踏石取付手摺 凡例

A	SUS手摺 : 補強バー取外し (ビス固定) ・補強 ※過年度工事による切断、補強バーパイプ取付箇所	43
B	SUS手摺 : 切断・補強 ※既存手摺切断・復旧時、補強バーパイプ取付	52

■ ベンチ席 取外し、復旧箇所リスト

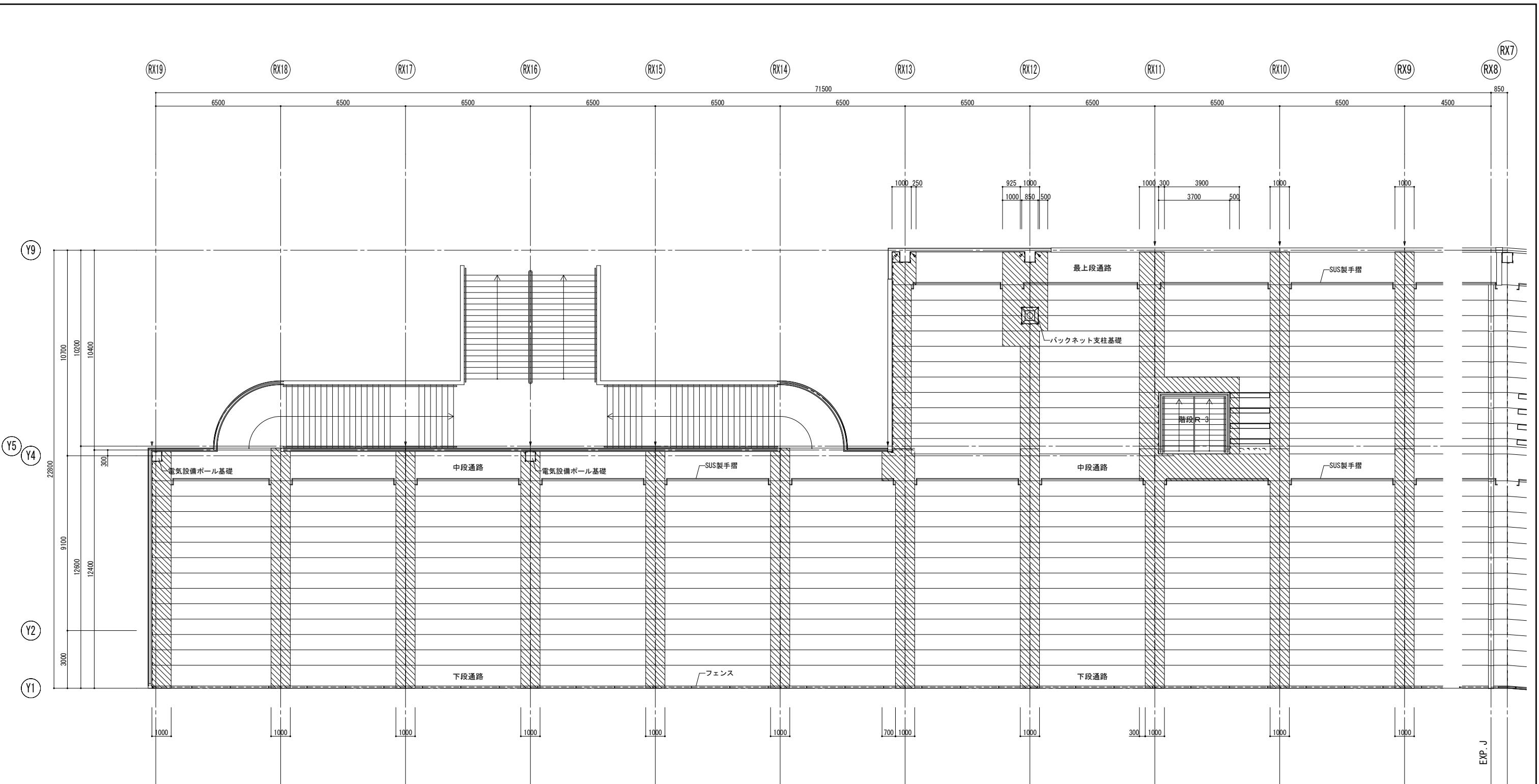
V-1	L=2050	8台
V-2	L= 986	4台
V-3	L=1024	4台
V-4	L=1061	4台
V-5	L=1099	4台
総延長 : 33.08m		

■ 工事内容 (1)

- 防水施工に支障となるベンチ席(図示)の座面を取外し(再利用・スタンド仮置き)、防水施工後に復旧とする。
- 段床の踏石を移動(再利用・スタンドに仮置き)、防水施工後に復旧とする。  
破損、劣化が著しい踏石(図示)は撤去(処分)、新規踏石(一部SUS手摺)に交換。
- 手摺が取付られている踏石は以下の処理を行う。
  - 支柱が切断され、補強バーが取付られている踏石
    - 補強バー(ビス止め固定)を取り外し(再利用)、手摺本体と分離。
    - 防水施工後、復旧(段差調整)し、補強バー再取付接続。
  - 支柱が切断されていない踏石
    - 手摺支柱を切断し、手摺本体と踏石を分離(詳細図参照)。
    - 防水施工後、復旧(段差調整)し、補強バー(新設)取付接続。(詳細図参照)
- コンクリート壁面に目地切(防水材端部納めシーリング用)を行う。

【施工箇所】 RX19/LX19・Y1-4間 手摺壁、RX13/LX13・Y4-9間 手摺壁  
階段外周側手摺壁、ポール・支柱基礎廻り

工事名称 : 県営上田野球場 防水部分改修工事  
図面名称 : スタンド現況平面図 (3)  
縮尺 : 1 : 100 (A3=1:200) 図面番号 : A-12  
DATE : ..  
株式会社 KRC  
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670  
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号  
1級建築士 第293052号 渡利 真二



#### ■防水改修 凡例

	ウレタン塗膜防水の施工範囲を示す
- - - -	PC版間シーリング打替え箇所を（既存撤去、新規）を示す
▷	柱型・手摺間シーリング打替え箇所を（既存撤去、新規）を示す

#### ■工事内容 (2)

- 防水施工に関する共通事項
  - ケレン清掃、高圧洗浄。
    - 洗浄時に不純物がドレインにはいらないよう対策を行うこと。
    - 既存のウレタン防水施工箇所に浮き、はく離などがある場合は、劣化部を除去する。
  - 防水施工を行うPC版、RC面の欠損部補修。
    - ポリマーセメントモルタルにて補修を行う。
    - 破損、劣化が著しい箇所がある場合は、補修方法について監督員と協議を行うこと。
  - 下地調整
    - 防水材指定の下地調整材にて、表面処理、ピンホールつぶし（しごき塗り）を行う。
  - シーリング工事
    - 既存シーリング撤去、バックアップ材再充填、シーリングを新設する。
    - 防水施工後、立上り等の防水材端部の目地シーリングを行う。
    - 防水施工後、手摺支柱等の周囲にシーリング (MS-2 10×10) を行う。
    - Y4、Y9通りのPC手摺壁の目地、手摺壁と柱間にシーリング打替え (MS-2 20×10) を行う。
  - 防水工事
    - ジョイント部、目地補強（絶縁テープ・メッシュテープ）を行う。
    - ウレタン塗膜防水を施工（平面：防滑仕様）。

工事名称 : 県営上田野球場 防水部分改修工事

図面名称 : 防水改修平面図 (1)

縮 尺 : 1:100 (A3=1:200) 図面番号 : A-13

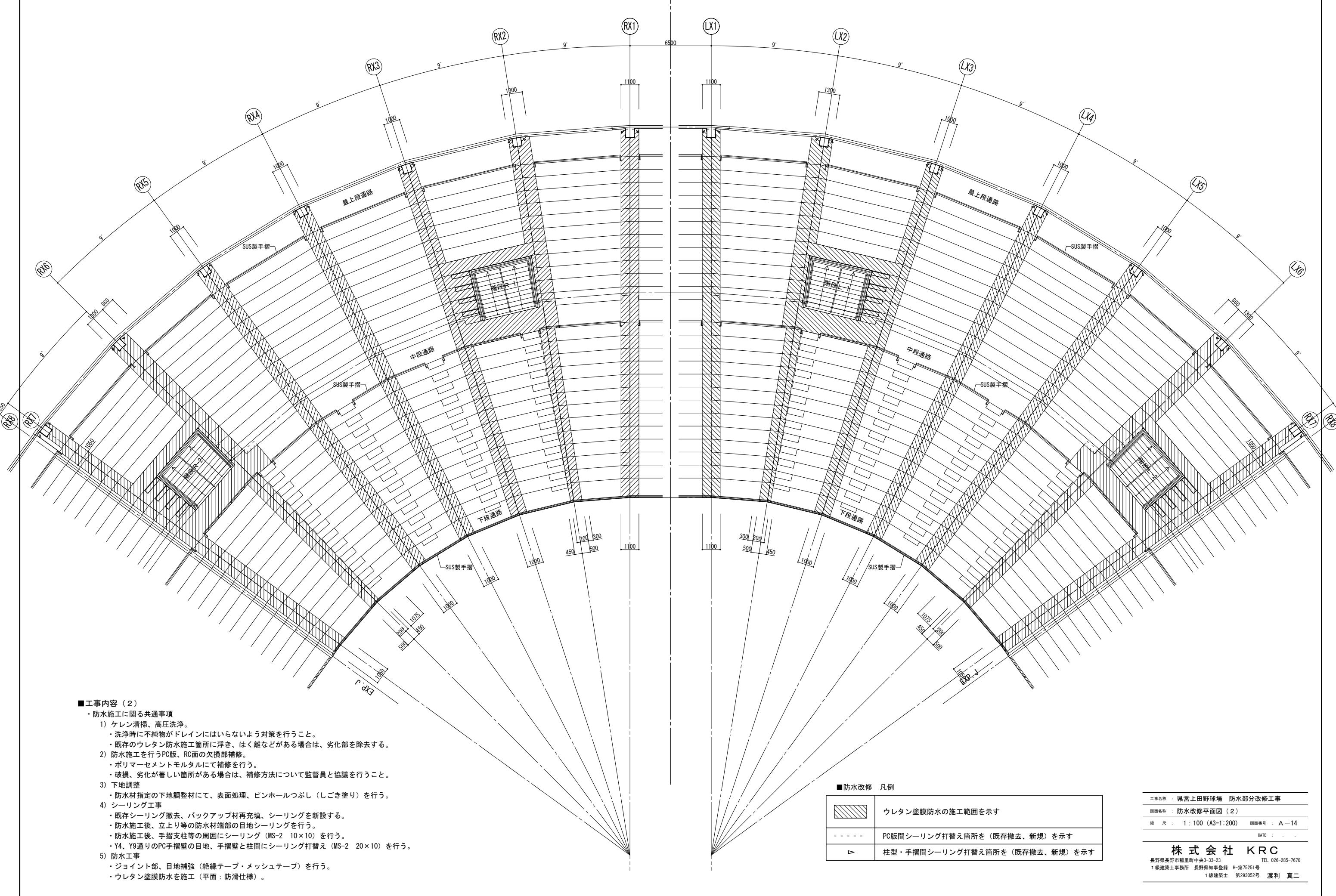
DATE : ..

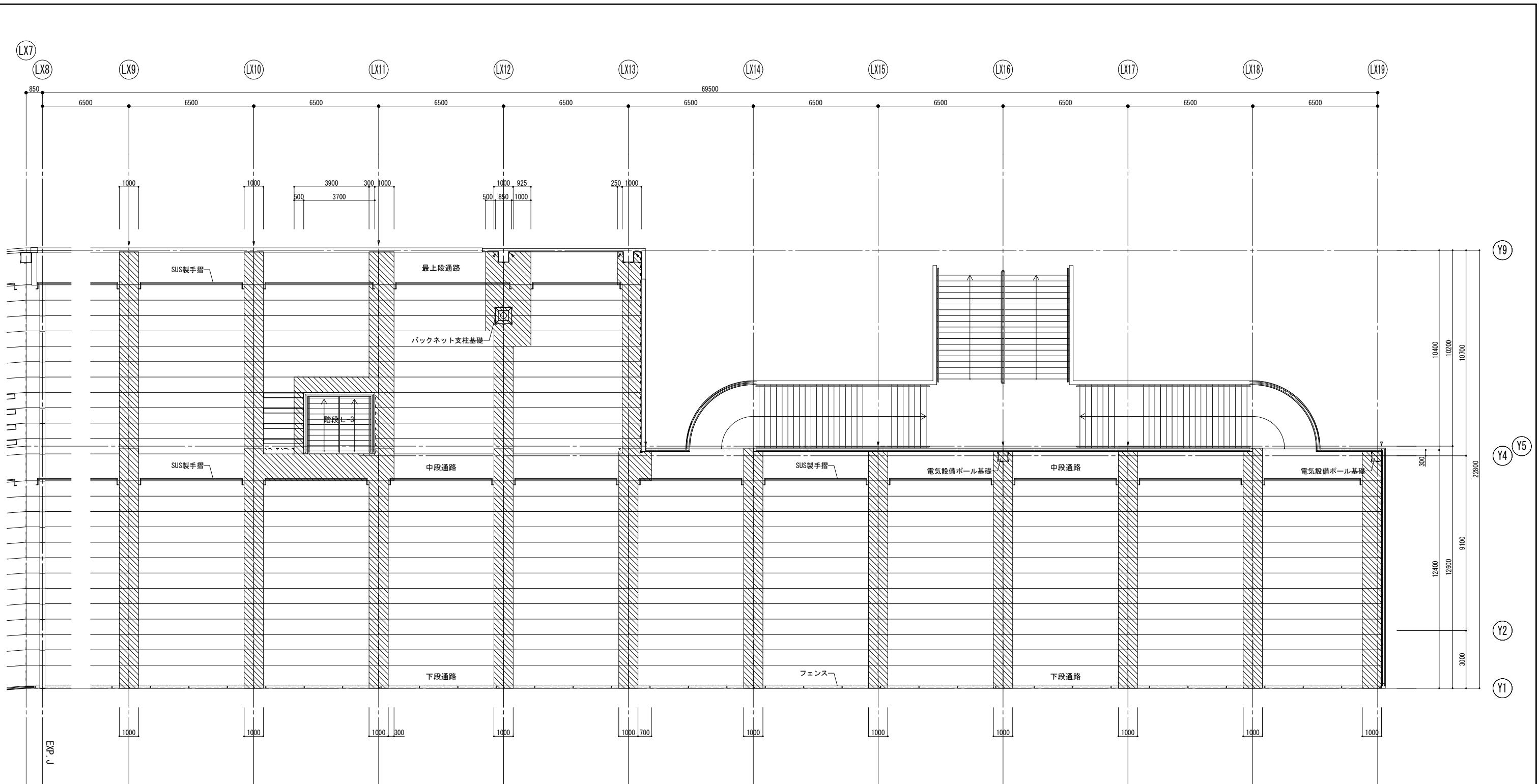
株式会社 KRC

長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670

1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号

1級建築士 第293052号 渡利 真二

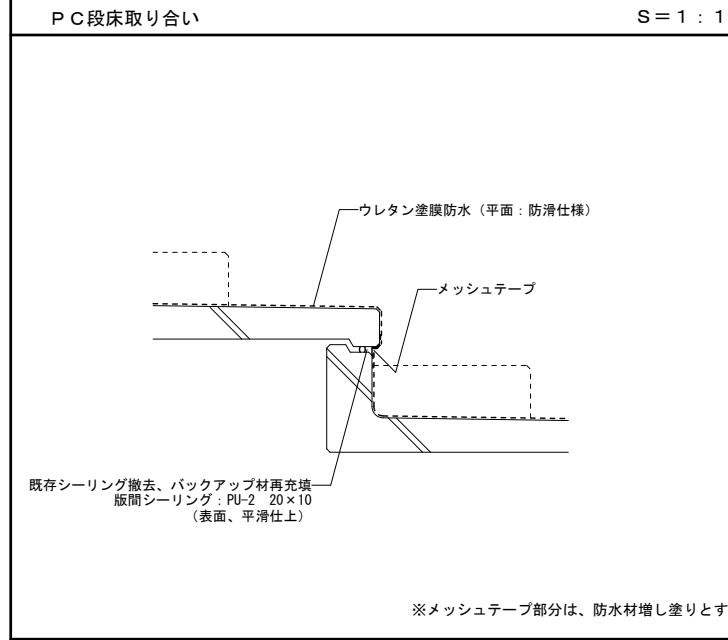
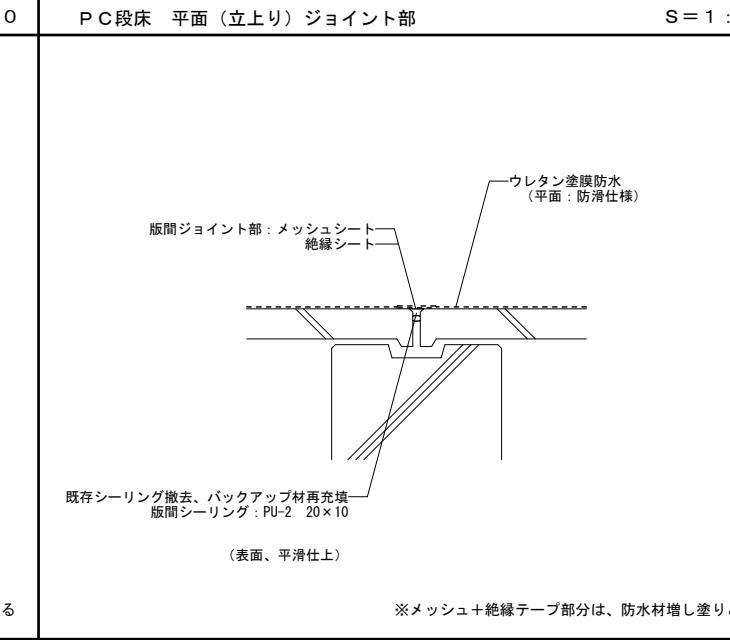
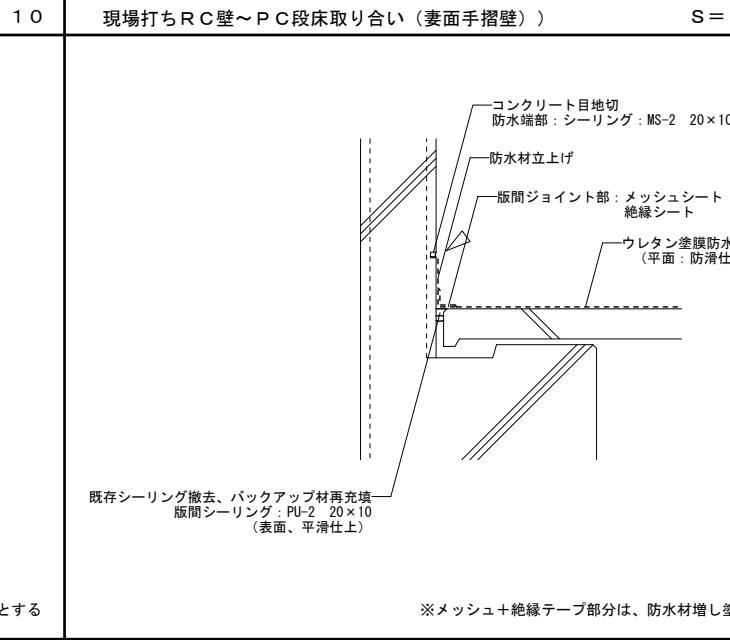
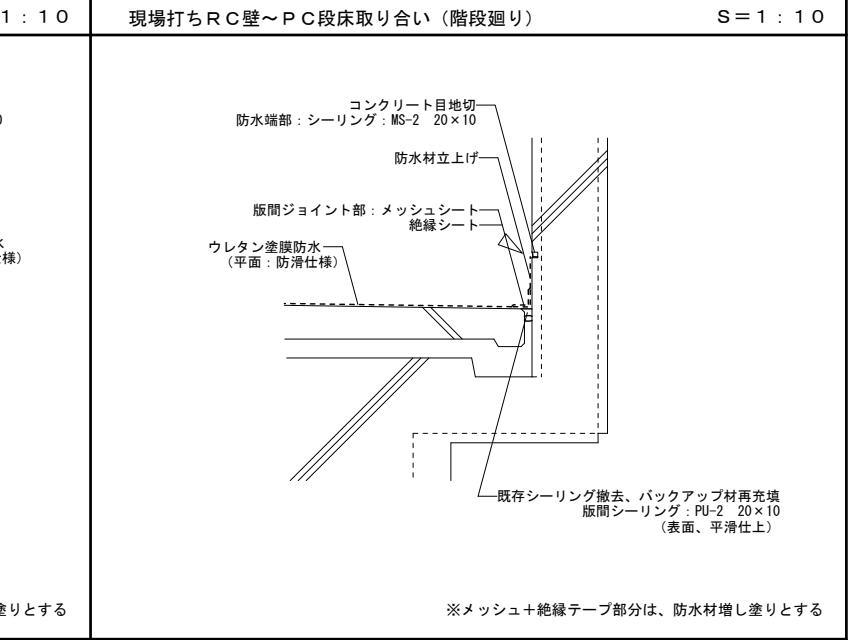
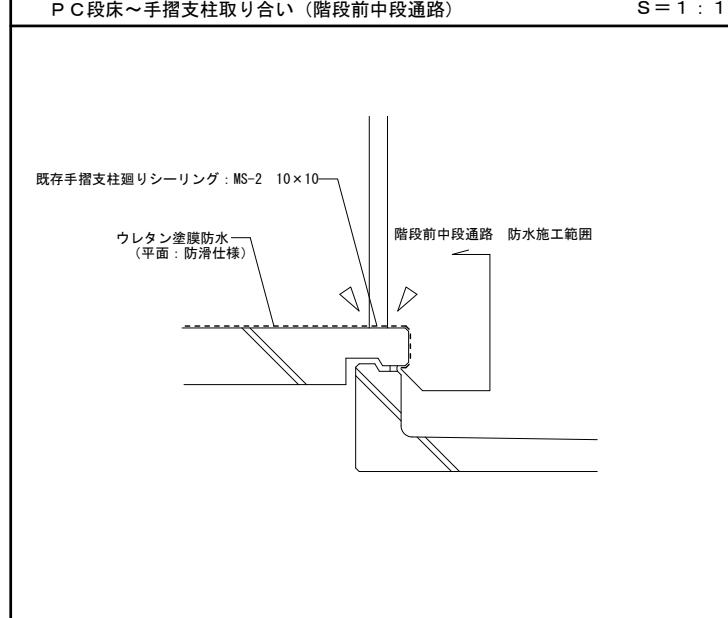
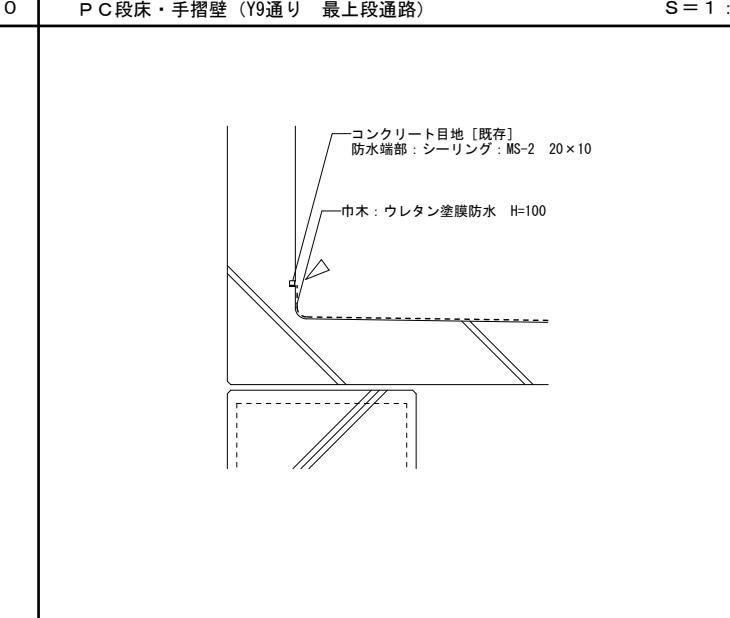
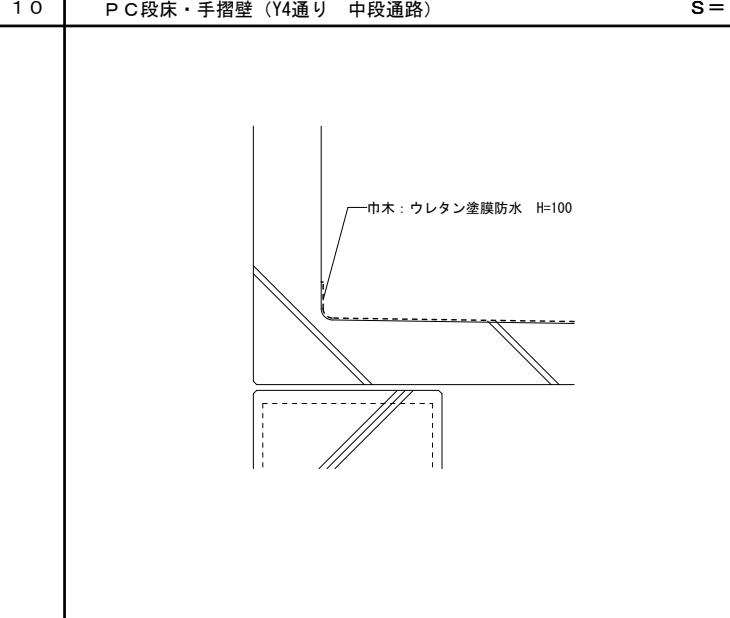
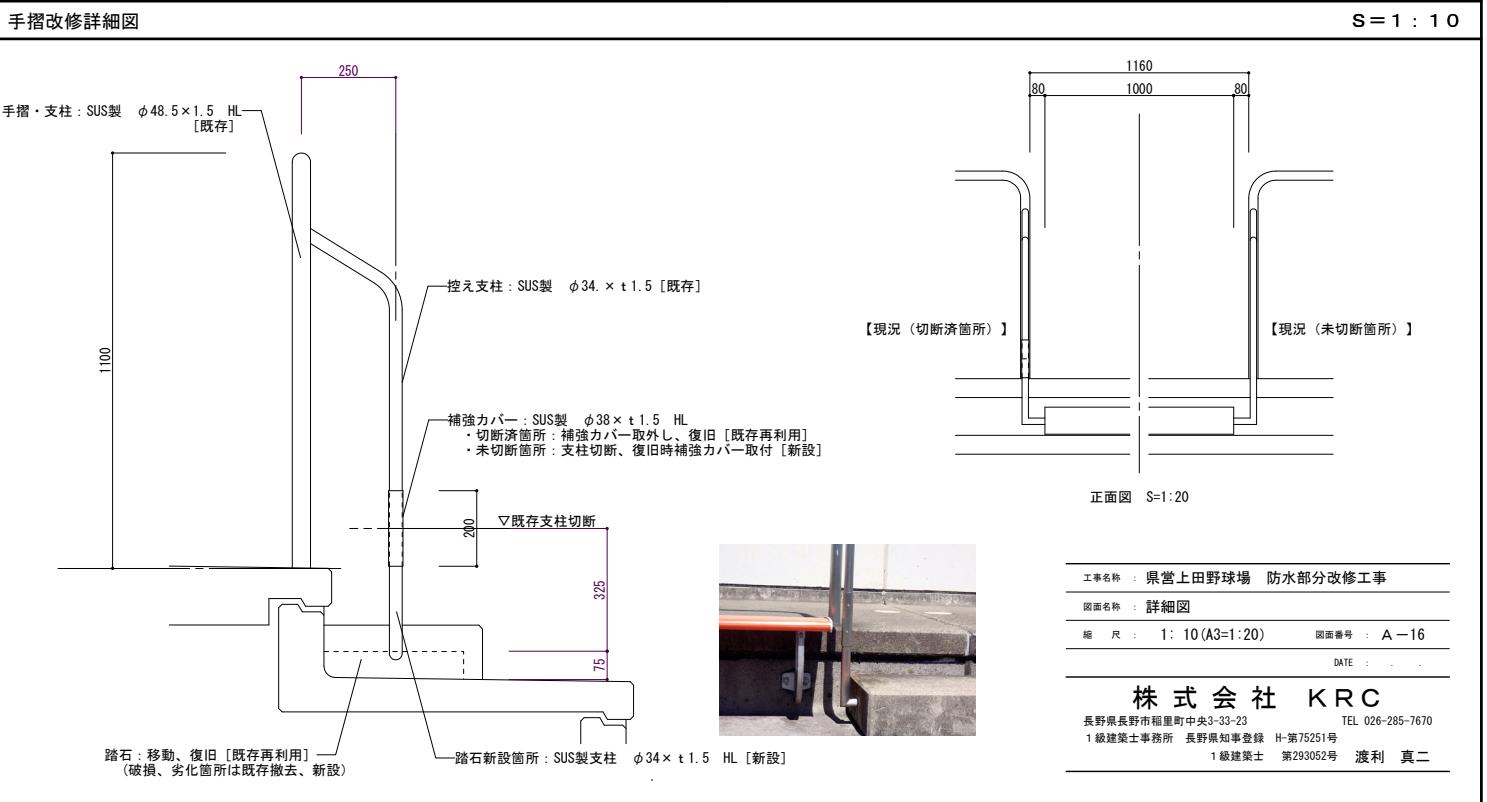




#### ■工事内容（2）

- ・防水施工に関する共通事項
  - 1) ケレン清掃、高圧洗浄。
    - ・洗浄時に不純物がドレインにはいらないよう対策を行うこと。
    - ・既存のウレタン防水施工箇所に浮き、はく離などがある場合は、劣化部を除去する。
  - 2) 防水施工を行うPC版、RC面の欠損部補修。
    - ・ポリマーセメントモルタルにて補修を行う。
    - ・破損、劣化が著しい箇所がある場合は、補修方法について監督員と協議を行うこと。
  - 3) 下地調整
    - ・防水材指定の下地調整材にて、表面処理、ビンホールつぶし（しごき塗り）を行う。
  - 4) シーリング工事
    - ・既存シーリング撤去、バックアップ材再充填、シーリングを新設する。
    - ・防水施工後、立上り等の防水材端部の目地シーリングを行う。
    - ・防水施工後、手摺支柱等の周囲にシーリング（MS-2 10×10）を行う。
    - ・Y4、Y9通りのPC手摺壁の目地、手摺壁と柱間にシーリング打替え（MS-2 20×10）を行う。
  - 5) 防水工事
    - ・ジョイント部、目地補強（絶縁テープ・メッシュテープ）を行う。
    - ・ウレタン塗膜防水を施工（平面：防滑仕様）。

工事名称 : 県営上田野球場 防水部分改修工事  
 図面名称 : 防水改修平面図（3）  
 編尺 : 1:100 (A3=1:200) 図面番号 : A-15  
 DATE : ..  
**株式会社 KRC**  
 長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670  
 1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号  
 1級建築士 第293052号 渡利 真二

PC段床取り合い S = 1 : 10	PC段床 平面(立上り) ジョイント部 S = 1 : 10	現場打ちRC壁～PC段床取り合い(妻面手摺壁) S = 1 : 10	現場打ちRC壁～PC段床取り合い(階段廻り) S = 1 : 10		
					
既存シーリング撤去、バックアップ材再充填 版間シーリング：PU-2 20×10 (表面、平滑仕上)	既存シーリング撤去、バックアップ材再充填 版間シーリング：PU-2 20×10 (表面、平滑仕上)	既存シーリング撤去、バックアップ材再充填 版間シーリング：PU-2 20×10 (表面、平滑仕上)	既存シーリング撤去、バックアップ材再充填 版間シーリング：PU-2 20×10 (表面、平滑仕上)		
※メッシュテープ部分は、防水材増し塗りとする	※メッシュ+絶縁テープ部分は、防水材増し塗りとする	※メッシュ+絶縁テープ部分は、防水材増し塗りとする	※メッシュ+絶縁テープ部分は、防水材増し塗りとする		
PC段床～手摺支柱取り合い(階段前中段通路) S = 1 : 10	PC段床・手摺壁(Y9通り 最上段通路) S = 1 : 10	PC段床・手摺壁(Y4通り 中段通路) S = 1 : 10			
					
既存手摺支柱廻りシーリング：MS-2 10×10 ウレタン塗膜防水 (平面：防滑仕様)	コンクリート目地〔既存〕 防水端部：シーリング：MS-2 20×10 巾木：ウレタン塗膜防水 H=100	巾木：ウレタン塗膜防水 H=100			
防水・シーリング参考図	NON	手摺改修詳細図	 <p>手摺・支柱：SUS製 <math>\phi 48.5 \times 1.5</math> HL [既存] 控え支柱：SUS製 <math>\phi 34.0 \times 1.5</math> [既存] 補強バー：SUS製 <math>\phi 38 \times 1.5</math> HL ・切断済箇所：補強バー取外し、復旧[既存再利用] ・未切断箇所：支柱切断、復旧時補強バー取付[新設] △既存支柱切断 踏石：移動、復旧[既存再利用] （破損、劣化箇所は既存撤去、新設） 踏石新設箇所：SUS製支柱 <math>\phi 34 \times 1.5</math> HL [新設]</p> <p>正面図 S=1:20</p> <p>工事名称：県営上田野球場 防水部分改修工事 図面名称：詳細図 縮尺：1:10 (A3=1:20) 図面番号：A-16 DATE： 株式会社 KRC 長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670 1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号 1級建築士 第293052号 渡利 真二</p>		

■県営上田野球場 防水部分改修工事 概略工事工程表（参考）

工種 期 間	令和7年度									令和8年度									備 考																
	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月	11月						
	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30								
準備期間				契約	準備期間																	書類整理		検査											
防水改修工事					現地調査																														
					踏石移動・ベンチ取外し・カッター入れ																														
						ケレン・洗浄																													
							シーリング撤去・新設																												
								ジョイント補強・下地処理																											
									ウレタン防水																										
										調整																									
										踏石・ベンチ復旧																									
					現地調査・承認図作成・承認期間					工場製作期間																									
別途発注工事										【踏石製作】																									
											ラバーフェンス改修等工事																								

工事名称 : 県営上田野球場 防水部分改修工事

図面名称 : 概略工事工程表

縮 尺 : NON 図面番号 : A-17

DATE :

株式会社 KRC

長野県長野市稻里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670

1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号

1級建築士 第293052号 渡利 真二